

令和元年度一般会計決算審査特別委員会会議録（第2号）

1. 日 時 令和2年10月8日（木）午前10時

2. 場 所 議会棟3階 議場

3. 出席委員は次のとおりである。

委 員 長	仲 里 邦 彦	副委員長	仲 間 烈
委 員	比 嘉 克 政	委 員	又 吉 正 信
委 員	金 城 大 輔	委 員	稲 嶺 伸 作
委 員	下 地 惠 典	委 員	古 波 蔵 保 尚
委 員	真 栄 城 玄 誠	委 員	伊 礼 研 一
委 員	西 銘 健		

4. 欠席委員は次のとおりである。

な し

5. 委員会条例第19条の規定により出席した者は次のとおりである。

〔市民部〕

市 民 部 長	野 村 雄	環境保全課長	金 城 盛 達
経済観光局長	比 嘉 克 也	環境施設課長	宮 城 高 光
市民生活課長	与那覇 純 子	産業振興課長	新 里 優 子
市民協働・男女 共同参画課長	森 田 牧 子	観光振興課長	仲 村 正 夫
市 民 課 長	大 里 千都美	新 型 コロナウイルス 感染症緊急経済 対 策 室 長	津嘉山 朝 之

〔議会事務局〕

事 務 局 長	比 嘉 さつき	次 長	慶 田 朗
---------	---------	-----	-------

6. 職務のため出席した者は次のとおりである。

次 長	慶 田 朗	主 事	藤 田 勝一郎
議 事 係 長	吉 長 聖 哲	主 事	伊 波 徹

7. 議題は次のとおりである。

議案第51号 令和元年度浦添市一般会計歳入歳出決算認定について

※ 上記付議事件については、説明聴取～質疑

○ 仲里邦彦 委員長 これより令和元年度一般会計決算審査特別委員会を開会いたします。

(開議時刻 午前10時05分)

市民部所管に係る一般会計決算審査を行います。

所管部長の総体的説明を求めます。野村 雄市民部長。

○ 野村 雄 市民部長 改めて、おはようございます。それでは、令和元年度一般会計歳入歳出決算審査に当たり、市民部7課が所管する事項につきまして総体的説明を申し上げます。まず、歳入でございますが、市民部所管分全体の収入済額の合計は6億33万5,222円で、対前年度比1,559万1,311円、率にして2.67%の増となっております。歳入増減の主な要因としましては、11款の国庫支出金のうち、新一般廃棄物処理施設整備に関する計画支援事業に係る循環型社会形成推進交付金3,168万2,000円の増、次に12款の県支出金のうち牧港漁港の基盤整備に係る水産生産基盤整備事業補助金1,980万円の皆増、平成30年度から繰越し事業である牧港漁港の更新工事に係る漁港機能増進事業補助金1,939万1,000円の皆増、次に17款の諸収入のうち、可燃ごみ焼却処理受託料の減に伴う可燃ごみ焼却処理受託金2,028万2,615円の減となっております。次に歳出でございますが、市民部所管分の全体の支出済額の合計は16億7,059万226円で、対前年度比7,027万3,838円、率にして4.04%の減となっております。また、予算現額19億7,668万7,480円に対し、執行率は84.51%となっております。歳出増減の主な要因といたしましては、4款の衛生費のうち、クリーンセンター管理事業に係る回転機器類及び電気機器類等の購入に伴う消耗品費2,365万4,054円の増、新一般廃棄物処理施設整備事業に係る環境影響評価の現況調査業務が新たに加わったことに伴う委託料4,010万6,000円の増、次に6款の農林水産業費のうち、牧港漁港の基盤整備に係る測量等委託料2,220万円の皆増、平成30年度から繰越し事業である牧港漁港の更新工事に係る工事請負費2,158万5,480円の皆増、次に7款の商工費のうち、浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業に係る用地取得費1億2,706万8,981円の減となっております。以上、市民部の決算に関し総体的な説明を申し上げます。詳細につきましては、担当課長より説明させていただきたいと思いますので、御審議のほどよろしく願いいたします。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 次に、歳入9款の説明を求めます。金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 それでは、決算書の25ページ、26ページをお開きください。歳入9款2項4目2節の備考欄の1新一般廃棄物処理施設整備事業負担金は環境保全課所管です。当該負担金は、新クリーンセンター整備事業について基本合意を締結しております中城村、北中城村、両村から本市への負担金であります。前年度比で約990万円ほど増となっておりますことについてですが、この両村からの負担金の額は、その年度の新クリーンセンター整備に係る総事業費によって決まります。その総事業費が前年度の約6,400万円から令和元年度は約1億3,000万円と約7,100万円の増額となっております。それに伴ってこの負担金が増となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入9款に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に第10款の説明を求めます。森田牧子市民協働・男女共同参画課長。

○ 森田牧子 市民協働・男女共同参画課長 決算書の25ページ、26ページをお開きください。10款1項2目総務使用料の備考欄2施設使用料、(2)ハーモニーセンター使用料は、市民協働・男女共同参画課所管

でございます。前年度で比較しますと、著しい増減はございません。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城高光環境施設課長。

○ 宮城高光 環境施設課長 決算書27ページ、28ページをお願いします。10款1項4目衛生使用料の2節清掃使用料の備考欄1職員駐車使用料、備考欄2自動販売機土地使用料は環境施設課所管でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 では、決算書の27ページ、28ページをお開きください。10款1項4目1節の備考欄の1墓園使用料、続きまして35ページ、36ページをお開きください。10款2項4目1節の保健衛生手数料の備考欄の1承継等交付手数料から備考欄の6鳥獣飼養許可等手数料、同じ備考欄で2節清掃手数料の備考欄の1清掃関係手数料から4し尿浄化槽汚泥処理手数料まで、以上は環境保全課所管でございます。28ページの墓園使用料が前年度より865万1,000円減となっていることについてであります、これはその申請件数が平成30年度は298件であったものが令和元年度は195件となったことに伴うものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 それでは、決算書の35ページから36ページを御覧ください。10款2項2目総務手数料3節戸籍住民基本台帳手数料の備考欄1住民基本台帳関係手数料から4諸証明手数料は市民課所管分でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 決算書29ページから30ページを御覧ください。10款1項6目農林水産使用料、3節、備考欄1牧港漁港施設使用料、2牧港漁港区域内占用料、下へ移りまして7目商工使用料、1節、備考欄1サン・シルク土地使用料は産業振興課所管でございます。サン・シルクにつきましては、令和元年度から指定管理者による施設の管理運営を開始しております。それに伴い施設等の利用料が指定管理者の収入となり、サン・シルク施設等使用料は皆減となっております。続きまして、38ページを御覧ください。2項6目農林水産業手数料、1節、備考欄1農地関係証明手数料、2節、備考欄1漁業関係証明手数料、以上が産業振興課所管でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 10款に対する質疑を許します。又吉正信委員。

○ 又吉正信 委員 36ページなのですけれども、し尿浄化槽汚泥処理手数料の要因をちょっと教えていただけたら。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 これは、いわゆるくみ取便所、浄化槽からくみ取りをした業者さんがクリーンセンターに搬入するわけですから、その量に応じて処理手数料を市に納めるということで、その手数料でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 又吉正信委員。

○ 又吉正信 委員 だったら、件数として何件ぐらいあるのですか、年間。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 これは、件数という形で取っているわけではなくて、量です。量でやってお

りますので、量でお答えしてよろしいですか。平成元年度につきましては……ちょっと休憩をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午前10時17分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午前10時18分)

金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 すみません。では、量でなくて件数で幾つあるかということでお答えします。現在、令和元年度の時点で、いわゆるくみ取便所が238件、浄化槽が1,441件となっております。

○ 仲里邦彦 委員長 又吉正信委員。

○ 又吉正信 委員 分かりました。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 28ページの10款1項4目衛生使用料の保健衛生施設等使用料、備考の1墓園使用料、先ほど前年度と比較して800万円ほど減になっているという説明で、平成30年度は298件、令和元年度は195件ということでの説明ありましたが、調書のほうを見ると、歳入の1のほうでこの墓園使用料が対予算収入率、予算、当初の見立てとの関係では183%ということの説明があるのですが、その当初の見立てよりも増えたということでもいいのか。聞きたいのは、墓園の使用状況というものが、見込みとの関係で、見込んでいたよりもどんどん申請があるのだとか、あるいは見込みどおりなのか、今の使用状況について、どういう状況かをお聞きします。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 この共同墓の件に関しましては、整備計画を策定しておりますが、そのときに市民アンケート調査を基に本市の墓地需要予測をしております。今後30年間ににおける墓地需要ということで、そのときの計画では4,619基と設定しております。それを30年で割ると各年で、計画ということでは154基となっておりますので、今この平成30年度、令和元年度の状況を見ますと、その154基よりはちょっと多いので、これ今後の推移をちょっと注視していく必要があるかと思っております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 分かりました。ちょっと令和元年度は特に予想との関係では増えているのかなというのが見受けられたので、今後どうなっていくのか、これについては大幅に増える、まだまだ足りないというようなものが出てくる可能性もあるのか、その辺は、見通しは今、今時点で少し難しいかもしれないですが、その辺はありますか。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 これ供用開始をした平成30年7月からなのですが、その年は298件となりました。これは、恐らくですが、潜在的な需要があったと見込まれまして、供用開始と同時に一気に申込みが来たというふうに思います。令和元年度については、やはりこれが落ち着いた状況なのかなと思っております。今後、推測ですが、このようなペースで進んでいくのではないかと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今後これが増えるようであればどうするのかも含めて、少し早い段階で検討も必要なのかなと思っております。次ですけれども、30ページのほうに移りまして、6目農林水産使用料のほうで、備考の1牧港漁港施設使用料186万2,000円についての説明を求めます。

- 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。
- 新里優子 産業振興課長 こちらの使用料につきましては、漁港施設の目的使用及び目的外使用に対する使用料となっております。令和元年度の主な使用料といたしましては、国道58号の電線共同溝の工事に伴う施設ヤード及び資材置場としての使用が主なものとなっております。以上でございます。
- 仲里邦彦 委員長 ほかにございませんか。真栄城玄誠委員。
- 真栄城玄誠 委員 10款1項6目、決算書の30ページでございます。3節の水産業使用料の中の備考欄2牧港漁港区域内占用料、これちょっと説明お願いいたします。
- 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。
- 新里優子 産業振興課長 こちらの占用料につきましては、牧港漁港施設に定着する工作物を新築し、改築し、増築し、もしくは除去しようとするものへの占用料となっております。令和元年度の主なものとしたしましては、電力の地中既設送電線の敷設及び電力供給のための電柱支線の設置に伴う占用料となっております。以上でございます。
- 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。
- 真栄城玄誠 委員 今、電力の電柱という話でございましたが、NTTもございますけれども。
- 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。
- 新里優子 産業振興課長 はい、入ってございます。以上です。
- 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。
- 真栄城玄誠 委員 この根拠は牧港漁港の管理条例、それがやっぱり根拠になっているのでしょうか。確認だけでよろしいです。
- 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。
- 新里優子 産業振興課長 浦添市漁港管理条例第15条及び第16条が歳出の根拠となっております。以上でございます。
- 仲里邦彦 委員長 ほかにございませんか。

（「進行」と言う者あり）

- 仲里邦彦 委員長 ないようでありますので、次に11款国庫支出金のほうに移ります。11款の説明を求めます。大里千都美市民課長。
- 大里千都美 市民課長 それでは、決算書の39ページから40ページをお開きください。11款2項2目総務費国庫補助金、ページめくりまして42ページの上段の備考欄2個人番号カード交付事業費補助金、3個人番号カード交付事務費補助金は市民課所管でございます。また、2個人番号カード交付事業費補助金につきましては、前年度と比較しまして670万9,000円、率にしまして79.3%の増となっております。この補助金に関しましては、歳出の個人番号カード交付事業の通知カード・個人番号カード交付関連事務交付金に対し10分の10補助するもので、そのカードの作成と関連事務の交付金増額により事業費補助金の増となっております。続きまして、決算書の57ページから58ページを御覧ください。11款3項2目総務費委託金、1節総務管理費委託金の備考欄2中長期在留者住居地届出等事務委託金、次に11款3項3目民生費委託金、1節社会福祉費委託金の備考欄1国民年金事務取扱委託金は市民課所管でございます。以上でございます。
- 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 決算書の49ページ、50ページをお開きください。歳入11款2項4目2節清掃費補助金の備考欄の1循環型社会形成推進交付金は環境保全課所管です。前年度比で3,168万2,000円の増となっておりますが、この交付金の額は、新クリーンセンター整備に係る事業費のうち補助対象経費となる分の2分の1となっております。事業費が令和元年度は平成30年度よりも約6,300万円ほど増額となっておりますので、それに伴ってこの交付金も増となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 決算書55ページ、56ページをお開きください。11款2項19目、ページをめくりまして、1節沖縄振興特定事業推進費市町村補助金の一部が観光振興課分でございます。この事業は、新規事業でございます。3,671万6,000円のうち3,009万2,000円が観光振興課分となっており、残りが文化財課の所管となっております。この補助金は、沖縄県の直面する課題に迅速、柔軟に対応するための事業等に交付することにより沖縄の実情に即した事業の的確かつ効果的な実施をすることを目的として創設された事業であります。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入11款に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今の最後に説明のあった55ページ、56ページから57ページ、58ページにまたがっての沖縄振興特定事業推進費市町村補助金についてですけれども、観光振興課、文化財課が事業する予定だったということですか。どういうことなのか。これ予算ではあるけれども、結局事業はやっていないということなのか、説明をお願いします。どのような事業なのか。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 具体的な事業内容としましては、首里城喪失後の入域観光客を本市と那覇市の広域での受入れが可能となるように、琉球国設立以来の古琉球時代に焦点を当てた、首里と浦添を連動させる新たな観光コンテンツの開発や、本市に訪れた方々を受け入れるための環境整備をするための事業であります。この事業に関しては、補助金交付決定が2月ということと、事業を共同で実施する那覇市との協議に時間を要するため、全額繰越して対応となっております。具体的な内容としましては、新たなコンテンツ開発に対して古琉球を生かした周遊ルートの構築、また歴史紙芝居の制作とか歴史アニメの制作を予定しております。受入れ環境整備として、駅から浦添城址跡にWi-Fi環境の整備もしくは公共のサインの整備を今考えております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 分かりました。今年度でやるということだと思いますけれども、確認ですけれども、これ国から100%で来るものですか。国から直接。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 10分の8の補助事業であります。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかにございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、12款の説明を求めます。金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 では、決算書の59ページ、60ページをお開きください。歳入12款1項4目1節の備考欄の2墓地、埋葬等に関する法律に基づく県負担金、続きまして67ページ、68ページをお開きくだ

さい。12款2項4目1節の備考欄の6自然環境再生支援事業補助金は環境保全課所管です。この自然環境再生支援事業補助金についてですが、これは自然環境の再生の取組に必要な経費の一部を県が補助をするというものでありまして、令和元年度から始まっております。令和3年度までの事業となる予定でございます。この補助金を活用し、令和元年度は里浜保全事業としてカーミージー周辺の海域環境調査を行っております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 決算書の59ページから60ページを御覧ください。12款2項2目総務費県補助金、1節総務管理費補助金の備考欄3権限移譲交付金、(1)件数割交付金(市民課)、続きましてページ変わります。決算書の75ページから76ページを御覧ください。12款3項2目総務費委託金、3節戸籍住民基本台帳費委託金の備考欄1人口動態調査委託金が市民課所管でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 それでは、決算書67ページから68ページを御覧ください。12款2項6目1節、備考欄1農業次世代人材投資事業補助金、2農地集積・集約化対策事業費補助金、2節林業費補助金、備考欄2デイゴヒメコバチ防除事業補助金、下へ移りまして3節水産業費補助金、備考欄1浮魚礁漁場整備事業費補助金、前年度繰越明許費、2漁港機能増進事業補助金、3水産生産基盤整備事業補助金は産業振興課所管でございます。備考欄1浮魚礁漁場整備事業費補助金につきましては、令和元年度から令和2年度にかけて実施しております浮魚礁更新整備事業に係る補助金で、皆増となっております。備考欄2漁港機能増進事業補助金につきましては、牧港漁港の南及び西物揚げ場附帯施設の更新工事に係る前年度繰越明許費となっております。工事は、令和元年6月21日に完了しております。備考欄3水産生産基盤整備事業補助金につきましては、令和元年度から6年計画で実施しております牧港漁港整備事業に係る補助金で、皆増となっております。令和元年度の事業内容は、北防波堤の実施設計でございます。続きまして、71ページから72ページを御覧ください。11目沖縄振興特別推進交付金、1節、備考欄1の(5)沖縄振興特別推進交付金(産業振興課)は産業振興課所管でございます。雇用創出事業の皆減及び農協まつりの豚熱発生の影響による中止等に伴う収入減となっております。続きまして、77ページから78ページを御覧ください。3項6目農林水産業費委託金、1節、備考欄1ミバエ地上防除作業委託金、2さとうきび生産見込調査委託金、3家畜予防注射手数料徴収事務委託金、以上が産業振興課所管でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 決算書の69ページ、70ページをお開きください。12款2項11目1節沖縄振興特別推進交付金でございます。ページをめくりまして、72ページの一番下にございます備考欄の(17)沖縄振興特別推進交付金は市民生活課所管でございます。これは、浦添市防犯灯LED化推進事業補助金の財源に充てているものでございます。前年度と比較いたしまして587万2,000円の減となっていることにつきましては、LED化した防犯灯の数が平成30年度は709基、令和元年度は485基と224基の減となっていることによるものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 決算書71ページ、72ページをお開きください。12款2項11目の1節沖縄振興特別推進交付金の説明欄1の(6)沖縄振興特別推進交付金、(観光振興課)について観光振興課の所管で

ございます。この事業は、3つの事業が入っておりまして、浦添市観光振興事業委託料と、てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」事業と、浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業の3事業が入っています。対前年度比で34%ほど減にいたしまして、額にしまして1,477万2,000円の減となっております。主な減額の理由としましては、浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業の委託事業の内容の違いによる減額でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 12款県支出金に対する質疑を許します。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑ないようですので、次に13款について説明を求めます。新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 決算書79ページから80ページを御覧ください。13款1項2目1節、備考欄1の（2）株式配当金（産業振興課）が産業振興課所管でございます。こちらは、復帰前から市が所有しております旧琉球製糖、現りゅうとうの株式配当金でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城高光環境施設課長。

○ 宮城高光 環境施設課長 決算書81ページ、82ページをお願いします。13款2項2目物品売払収入、第1節物品売払収入の備考欄2廃棄車両売払収入の（3）廃棄車両売払収入は環境施設課所管でございます。備考欄2の（3）廃棄車両売払収入につきましては、対前年度比で皆増となっております。増の要因としましては、リサイクルプラザにおいて古紙の選別後、業者への運搬に使用していた2台の車両を売却したためです。売却の理由としましては、現在、収集委託業者が直接業者へ古紙を搬入しており、この2台の車両については今後も使用する見込みがないため、売却しております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入13款財産収入に対する質疑を許します。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、14款に行きます。次に、14款の説明を求めます。与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 決算書83ページ、84ページをお開きください。14款1項2目1節総務管理費寄附金の備考欄の1学習等供用施設建設寄附金の（1）内間地区学習等供用施設改修事業寄附金につきましては市民生活課所管でございます。令和元年度に行われました内間地区学習等供用施設の屋根改修工事に係る内間自治会負担分でございます。費用負担につきましては、市2分の1、自治会2分の1となっておりますが、内間自治会より2分の1に相当する金額を一括では支払えないとの申出がございまして、令和元年度から6年度までの6年間で分割納付することと合意書を交わしております。次に、備考欄の4まつり推進事業寄附金でございます。てだこまつり事業を指定しての御寄附をいただいております。以上が市民生活課所管でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 森田牧子市民協働・男女共同参画課長。

○ 森田牧子 市民協働・男女共同参画課長 決算書の83ページ、84ページをお開きください。14款1項2目総務費寄附金のうち、備考欄3まちづくりプラン賞寄附金が市民協働・男女共同参画課所管でございます。前年度と比較いたしますと187万円の増、率にしますと63%の増となっております。増額の要因といたしましては、企業等からの寄附額につきまして、大口の寄附や新規の寄附があったためでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 14款についての質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 84ページ、先ほど説明がありましたが、14款 1 項 2 目総務費寄附金の部分での学習等供用施設建設寄附金、内間自治会のものがありましたけれども、分割でということで説明ありましたが、自治会によってはなかなか費用を捻出できないだとかで困っているところもあるかと思うのですけれども、市が2分の1、自治会2分の1というのは何で決まっているのかとか、そもそも学習等供用施設というのは、所有はどちらですか。それも含めて説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 市といたしましては、各自治会が自治会集会所を新築、増築、改修工事を行う際は、浦添市自治会事務所等建設補助金交付規程に基づいて補助を行っております。事業費に係る2分の1以内、上限は1,000万円を補助しております。41自治会中31自治会については、自前で自治会集会所を設置しております。内間自治会の場合は、もともとあった自治会集会所を改修工事、建て替えるときに、資金がやっぱり厳しいということで、何か使える補助金はないかということで、防衛省の補助金を使うために、内間地区学習等供用施設ということで市の公共施設として建てると補助金が使えるということで建設して、その後、また内間自治会の集会所として使っている経緯がございます。なので、ほかの自治会との平等性を考えると、やっぱりほかの自治会と同じように、補助金については、かかった費用の2分の1、上限1,000万円ということで適用している状態でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 全体的なもの少し分からないのですけれども、31自治会が自前。市の施設というのは何施設あるのですか。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 自治会事務所を建設するときに防衛省の補助金を使って市の公共施設、学習等供用施設として建設したのが9か所ございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 自前で持っているところもあるし、市が造っているところもあるということの理解でいいですか。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 学習等供用施設につきましては、市の所管ということになっておりますが、実質上は自治会のほうで管理運営をしていただくということで指定管理という形を取っておりますが、本来もともとは自治会集会所として機能しておりますし、現在もそれとして機能しておりますので、市が所有して市が全て管理するという状況ではございません。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 経緯はいろいろあるかと思うのですけれども、1つ疑問なのは、やっぱり市の施設というものを市がそれはやっぱりやっていく必要があるのではないかというのが1点疑問があるのと、経緯があるのでということで説明はありますけれども、あとほかの自治体では建て替えたり、改修したりするに当たって2分の1より補助しているところとか、あるいは上限ももっと高く設定しているところとかというのはありますか。自治体によって。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 他の自治会は、改修工事を行うときには計画的に行っております。それで、上限を超えて市の建設補助金を交付する、補助するということはございません。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 すみません。ほかの自治体、いわゆる那覇とか宜野湾とか、ほかの自治体では公民館とか建て替えるときに補助というのを2分の1にしているのか、もっと高く、例えば3分の2市が補助しますよとか、上限は2,000万円までですよとかとやっているところがあるかは分かりますか。情報として。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 すみません。他市町村の状況というのはちょっと今手元に資料がございません。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 分かりました。何が言いたいかというと、自治会も昨今運営が厳しいと。やっぱり自治会員も減って、出ていくものはこれまでどおり出ていくけれども、入ってくるものも限られている中でかなり財政的に厳しくなっているというのをいろんなところで結構聞くものですから、それに対して市がどう対応できるのかというところを検討なりしていただきたいなというふうには思っているところですが、そういうのは皆さん、今回も分割で対応ということで、やっぱり一括で厳しいと。ほかの自治会でもやっぱり財政的に厳しいという声はよく聞くのです。それについてはどうですか。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 自治会のほうと協議しながら進めていきますが、学習等供用施設とほかの自治会集会所というのはやはり平等性を保つという観点はやっと考えながら、考慮しながら検討していきたいと思います。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 平等に取り扱うというのは当然大事なことでと思いますけれども、どちらも負担を軽減していくという方向でやっていただきたいなというふうに思っています。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかにございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 ないようですので、次に17款の説明を求めます。宮城高光環境施設課長。

○ 宮城高光 環境施設課長 決算書89ページ、90ページをお願いします。17款3項2目衛生費受託事業収入、1節清掃費受託事業収入の備考欄1可燃ごみ焼却処理受託事業収入は環境施設課所管でございます。備考欄1可燃ごみ焼却処理受託事業収入につきましては、対前年度比で2,028万2,615円の減、率にして67.3%の減となっております。減の要因としましては、受入れごみ量が前年度に対して724.38トン少なくなったため減少となっております。続きまして、決算書101ページ、102ページをお願いします。17款4項3目雑入、4節衛生費雑入の備考欄2清掃費雑入のうち、(1)再生利用物売払金、(2)自動販売機電気使用料、(5)建物総合損害共済災害共済金、(6)水道使用料、(7)スラグ売払金は環境施設課所管でございます。(1)再生利用物売払金につきましては、対前年度比で1,227万955円の減、率にして26.4%の減となっております。減の要因としましては、契約単価の減によるものです。特にスチール缶が1キロ当たり11.6円の減、金額にして412万9,493円の減、次に鉄くずが1キロ当たり12.3円の減、金額にして420万3,156円の減となっております。

ます。次に、（２）自動販売機電気使用料につきましては、対前年度比で4,400円の増、率にして６％の増となっております。（５）建物総合損害共済災害共済金につきましては、平成30年度の台風24号による施設修繕料に係る共済金でございます。内容としましては、施設修繕料の額の２分の１の金額となっております。

（６）水道使用料につきましては、対前年度比で皆増となっております。増の要因としましては、浦添市クリーンセンター建て替えに伴い発注された地質測量磁気探査等の調査業務委託に係るボーリング調査に使用した水道使用料となっております。（７）スラグ売払金につきましては、対前年度比ではほぼ同額となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 決算書91ページ、92ページをお開きください。17款４項３目２節総務費雑入の備考欄の１総務管理費雑入の（４）コミュニティ助成金は市民生活課所管でございます。これは、一般社団法人自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業の一環として、コミュニティ活動に必要な備品の整備に対して市に交付される助成金でございます。毎年度、この助成金を基に、希望する自治会の中から１自治会に対しましてコミュニティ活動推進補助金を交付しております。令和元年度につきましては小湾自治会へ交付し、複合機、パソコン、テレビ、冷蔵庫などの備品購入費に充てられております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 森田牧子市民協働・男女共同参画課長。

○ 森田牧子 市民協働・男女共同参画課長 決算書の93ページ、94ページをお開きください。17款４項３目雑入のうち、備考欄１総務管理費雑入、（11）施設電力使用料（ハーモニー）、（22）地域振興事業助成金、（23）てだこ市民大学学費、（24）公開講座受講料、ページをめくりまして95ページ、96ページの（25）再生利用物売払金（市民協働・男女共同参画課）が市民協働・男女共同参画課所管でございます。このうち（11）施設電力使用料（ハーモニー）は、施設内に設置の自動販売機１台に係る電気料金でございます。同自販機は浦添市青年連合会が管理しているものでございまして、年度末に１度まとめて当課から青年連合会に請求し、支払いを受けております。前年度比25％の増でございますが、これは自販機の使用電力の実績によるものです。次に、（22）地域振興事業助成金は、公益社団法人沖縄県地域振興協会より地域活性化推進事業として助成を受けているものです。当課においては、てだこ市民大学事業に充当しております。続きまして、（23）てだこ市民大学学費でございますが、こちらは前年度比約36％の減となりました。当学費には令和元年度に新設した浦添市まちづくりアカデミーの受講料を含んでおりますが、減額の主な要因といたしまして、まちづくりアカデミーの新設に伴う受講促進のため、受講料を予定していた１万円から半額にしたことによります。（24）公開講座受講料は、てだこ市民大学の定期講座の一つを公開講座とし、学生以外の広く市民の受講を募り、開催したものの実費相当分でございます。最後に、（25）再生利用物売払金（市民協働・男女共同参画課）は、令和元年度から計上していることによる皆増となっております。説明は以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 同じく96ページの備考欄３戸籍住民基本台帳費雑入、（１）自動車臨時運行許可番号標紛失弁償金、続きまして同じく96ページの３節民生費雑入、備考欄１社会福祉費雑入、ページめくりまして98ページ、備考欄（10）過年度賃金返納金（市民課）につきましては市民課所管でございます。な

お、96ページの自動車臨時運行許可番号標紛失弁償金につきましては、臨時ナンバーの2件分の弁償金でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 それでは、決算書の101ページ、102ページをお開きください。17款4項3目4節衛生費雑入の備考欄の(7)余剰電力売払収入、(9)葬祭業務関連取扱費繰替支弁分、そのまま同じ備考欄の2の(3)リユース家具等売払金、(4)指定ごみ袋広告収入料、以上が環境保全課所管です。その中の(9)葬祭業務関連取扱費繰替支弁分についてですが、これは亡くなられた方で、引取り手のいない場合の葬祭につきましては、死亡地の市町村長が負担をして行う、その後に県のほうにその費用について請求をするということになっておりますが、今回市が負担をした後に引取り手が見つかったケースがございます。その方にその費用を御負担いただきましたので、これを雑入として受け入れたものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 決算書は102ページから104ページでございます。17款4項3目5節労働費雑入、備考欄1の(1)委託料返還金、下へ移りまして6節農林水産業費雑入、備考欄1の(1)農業者年金業務委託費、ページをめくりまして備考欄2の(1)浮魚礁漁場整備事業費負担金、下へ移りまして7節、備考欄1の(1)小口資金原資貸付金元利金、(2)利用料収益分配金、(4)建物総合損害共済災害共済金、備考欄2小口資金損失補償回収金、以上が産業振興課所管でございます。102ページ、5節労働費雑入、備考欄1の(1)委託料返還金につきましては、平成30年度の創業者定着支援事業において生じただこホール利用料金について、指定管理者から委託事業者に対し利用料金の返還が行われたことによる市への委託料の返還金でございます。104ページ、6節の農林水産業費雑入の備考欄2の(1)浮魚礁漁場整備事業費負担金につきましては、当該事業が浦添宜野湾漁業協同組合に対する支援となっておりますことから、事業費の市負担分は本市及び宜野湾市の両市で折半することとなっております。本歳入につきましては、宜野湾市から本市へ支払われる負担金となっております。また、7節商工費雑入、備考欄1の(4)建物総合損害共済災害共済金につきましては、台風により発生した結の街の修繕費用に対する災害共済金となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 決算書103ページ、104ページをお開きください。17款4項3目7節商工費雑入の説明欄1の(3)ヤクルト球団関連4市交流事業参加費が観光振興課所管でございます。参加費の参加者の旅費における一部参加者負担金の歳入となっております。こちらにつきましては、対前年度比42%の増となっております。この主な要因として、大会時期が台風で延期になって、それに伴う旅費が増になりましたので、その分が増額となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入17款に対する質疑を許します。伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 まず、90ページですが、中段のほうで、先ほど説明ありましたが、可燃ごみの焼却事業で前年3,000万円の収入があったものが3分の1以下になっているという、700万トンでしたか、減になっているというお話ありましたがけれども、その理由は説明されていなかったの、理由を説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城高光環境施設課長。

○ 宮城高光 環境施設課長 可燃ごみ焼却処理受託金につきましては、相手方からの依頼に基づき、協定により浦添市のほうで引き受けることになっております。引き受ける際も浦添市の余力の範囲内で受けるということになっておりますので、相手方からの依頼に基づいてということで、令和元年度についてはそれだけの量しかなかったということになります。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 過去5年間の収入をお伺いします。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城高光環境施設課長。

○ 宮城高光 環境施設課長 令和元年度は986万8,992円、平成30年度は3,015万1,607円、平成29年度は2,275万2,766円、平成28年度は230万2,769円となっております。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 次に、94ページ、下段のほう、てだこ市民大学についてですけれども、前年に比べて少し減っているということではあるのですけれども、まず受講者数の推移、これをお伺いします。5年ぐらいで。

○ 仲里邦彦 委員長 森田牧子市民協働・男女共同参画課長。

○ 森田牧子 市民協働・男女共同参画課長 手元にあります3年分でお知らせいたします。受講者数でございますが、平成28年度、市民大学22人、平成29年度12人、平成30年度20人、令和元年度、市民大学13人となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 学生の年齢別の割合を持っているならお伺いします。

○ 仲里邦彦 委員長 森田牧子市民協働・男女共同参画課長。

○ 森田牧子 市民協働・男女共同参画課長 年齢別の推移でございますが、直近の2年で御説明しますと、平成30年度が9期生45.8歳、平成30年度10期生が60.8歳、令和元年度、市民大学が44.8歳。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 次に、102ページです。中段、説明欄の清掃費雑入のところの再生利用物売払金、環境施設課の部分、鉄くずの単価やスチール缶の単価等が落ち込んで、それによる影響だということですが、この単価というのはどういうふうに変動していくのか、そしてどのように年々実際に実績として変動されているのか、その辺を伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城高光環境施設課長。

○ 宮城高光 環境施設課長 スチール缶、鉄くず等については、半年ごとに入札を行って単価契約をしています。スチール缶につきましては、令和元年度、平均で15.4円、平成30年度が26.9円、鉄くずにつきましては、令和元年度が12.5円、平成30年度は24.8円となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 これは毎年、では鉄くずもスチール缶もずっと下がってきている、そういうもので、今後もそういう見通しなのでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城高光環境施設課長。

- 宮城高光 環境施設課長 スチール缶、鉄くずについては平成29年から減少傾向になっております。令和元年度つきましては、それ以外の品目も減少傾向となっております。以上です。
- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 これ大きな収入になっているわけで、今後これが減少していくことにどのような考えを持っているのか伺います。
- 仲里邦彦 委員長 宮城高光環境施設課長。
- 宮城高光 環境施設課長 スチール缶、鉄くずについては入札によって行っておりますが、これは市場の価格によって決まってくるものだと思います。市場の景気が回復すれば上がり基調、また下がれば下がり基調になるのかなというふうに考えております。以上です。
- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 これは景気に左右されるという認識でいいのでしょうか。
- 仲里邦彦 委員長 宮城高光環境施設課長。
- 宮城高光 環境施設課長 スチール缶、鉄くず等は、うちが売買している会社が、最終的には鉄関係は製鉄会社に行くと考えております。製鉄会社に行って建設業とかそういったものに、鉄筋とかに利用されていくと思いますので、そういったものが影響しているものだと考えております。
- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 ちょっといまいち分からないというか、まさに今、前年までは建設ラッシュで鉄筋などの需要というのは物すごいある中であったとは思いますが、僕の普通の感覚と、一般的な感覚としてですけれども、そういう中でどんどんこの単価が下がっていくというのは、景気とどういうふうな影響があるのか伺います。
- 仲里邦彦 委員長 宮城高光環境施設課長。
- 宮城高光 環境施設課長 スチール缶、鉄くず等の単価は、業者の入札によって決まっております。それが直接経済とどのようにリンクしているかというのは、私たちははっきり把握はしておりません。以上です。
- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 僕が言ったのは、これだけ大きな収入がある中で、どういう事情が起こると単価が下がっていくのだとか、どういう事情が起こると単価が上がっていくのだという、そういうのは、動向というのは皆さんがつかんでおかないとある程度いけないものなのかな、そうでないと見通しが持てないのではないかなというふうに思っているわけなのですけれども、そこのところどうでしょうか。
- 仲里邦彦 委員長 宮城高光環境施設課長。
- 宮城高光 環境施設課長 雑誌とかそういったもので鉄くずの値段とかというのは知ることはできるのですが、それ以外にちょっと確認する方法が今のところなくて、把握するのはそういった情報のみになります。以上です。
- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 分かりました。次に、ごみ袋の広告収入ですけれども、想定より上回った理由を伺います。

- 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。
- 金城盛達 環境保全課長 今回のゴミ袋、これは広告収入料が今回応募があった代理店1社でありまして……代理店が1社ですね。代理店が1社で、参加した企業は4社でございました。休憩。
- 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午前11時15分)
- 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午前11時16分)
- 金城盛達環境保全課長。
- 金城盛達 環境保全課長 当初予算のときに基本的に予定どおりではあったのですが、予算を計上するときに消費税をちょっと加味していなかったということで、その差が出ております。以上でございます。
- 仲里邦彦 委員長 ほかにございませんか。真栄城玄誠委員。
- 真栄城玄誠 委員 17款4項3目、ページが104ページ、7節の商工費雑入の中の備考欄の(1)小口資金原資貸付金元利金38万1,550円、これちょっと内容説明をお願いいたします。
- 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。
- 新里優子 産業振興課長 こちらは、現在休止しております浦添市小口資金融資に関する規則に基づき、市が予算の範囲内において市内で事業を営む小規模事業者に対し資金の融資を行った場合に、融資の期間が7年以内となっておりますので、7年後に回収しているものがこの小口資金原資貸付金元利金ということでございます。以上でございます。
- 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。
- 真栄城玄誠 委員 この小口資金融資制度というのはもう廃止になっていますよね。
- 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。
- 新里優子 産業振興課長 平成27年度から一時休止という状況でございます。
- 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。
- 真栄城玄誠 委員 平成27年度から現在まで一時休止ということですか。これは、以前はたしか浦添市が3,000万円の原資をつくって、これを市内の金融機関、琉銀、沖銀、その金融機関等に預託をして、10倍強でしたか、その原資をつくって市内の今おっしゃった事業者に貸付けしているわけなのですが、今回38万1,550円が元利金として、これは貸した額なのでしょうか。
- 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。
- 新里優子 産業振興課長 預けた額になります。元利金となります。
- 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。
- 真栄城玄誠 委員 それと下のほうにあります小口資金損失補償回収金14万8,594円、これとの関連性はどうなりますか。
- 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。
- 新里優子 産業振興課長 こちらの小口資金損失補償回収金につきましては、貸倒れが発生した場合の損失補償後の回収金ということになります。貸倒れが発生した場合に、沖縄県信用保証協会が金融機関に対し損失補償いたします。市は、その損失補償の額の2割を信用保証協会へ支払うことになっております。その後、回収できた貸倒れ金が信用保証協会から入ってまいりますので、この小口資金損失補償回収金ということで受けております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 そうしますと、これは当然融資の期間というのがあると思いますが、何か月間とか、分かりませんが、それを貸した後いわゆる回収が難しくなった場合、損失補償額として今おっしゃったように信用保証協会、そこのほうが補填するわけですね。その補填した額が今言った14万8,594円ということでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 こちらの14万8,594円につきましては、信用保証協会が回収した金額ということになります。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 私が聞きたいのは、いわゆるこういう制度があって、今中断しているということでございますが、たしかこれはもうこの制度を設けてかなりの年数たっていると思いますが、回収が順調にしているのか、事故が発生したり、融資不能になった件数が現在どのぐらいあって、その回収の見通しがあるのかどうか、その辺が非常に聞きたいところなのです。といいますのは、もう今コロナ禍にもなって事業所も大変厳しい状況にあると思いますが、皆さんのほうでこの融資をして、事故の発生に伴って回収不能が幾らぐらいなのか。そうなりますと、それに伴う利息等も発生するわけなのです。その辺の一連の関連性がきちっとされているのかなということなのですが。それからしますと、(1)というのは元利金だけで、これは融資した額ではない。さっき、前の話へ戻りますが、38万1,550円という、この内容なのですが。具体的に。

○ 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 小口資金原資貸付金元利金は、預託金ということになります。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 預託金は、最初原資をつくるときに浦添市のほうが3,000万円ですか、以前預託をして、これ10倍強して3億円の原資をつくって、その原資を中小企業等に貸付けするわけですね。そうしますと、今後また増やしていくという考えなのでしょうか。預託をするということは。

○ 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 現在は休止中でございますので、今後増やしていくということではございません。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 まあ、いいでしょう。次に、さっきの2のほうに戻りますが、損失補償回収金として14万8,594円計上された。これ何件分ですか。件数にしまして。

○ 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 件数といたしましては、8件分となっております。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 こういうふうに関回収不能となった損失補償の回収については、今後ももう継続して、限界あると思います、件数は。回収していくわけですね。

(「はい」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 ほかにございませんか。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今の104ページのところの商工費雑入の部分の（２）のほうに利用料収益分配金103万4,000円とありますけれども、その説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 こちらの利用料収益分配金につきましては、浦添市産業振興センター・結の街の管理運営に関する協定書に基づく収益の2分の1の返還ということでございます。研修室、それから入居企業の家賃、駐車料金等の収入から施設を管理するための一般管理費や自主事業費等を差し引いたものが対象となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかにございませんか。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 ないようですので、休憩いたします。 （休憩時刻 午前11時26分）

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 （再開時刻 午前11時40分）

次に、歳出に移ります。2款1項の説明を求めます。与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 決算書の129ページ、130ページをお開きください。2款1項1目の備考欄の17市民生活課事務費、18まつり推進事業、19コミュニティ推進事業、次に144ページをお開きください。2款1項2目の備考欄の1市民相談事業、次に160ページをお開きください。2款1項10目交通安全対策費の備考欄の1交通安全対策事業、以上が市民生活課所管でございます。前年度より大きく増額となった事業といたしまして、130ページの備考欄の19コミュニティ推進事業がございます。前年度より1,695万317円、率にして16%の増となっております。増の主な要因といたしましては、内間地区学習等供用施設の屋根改修工事と、浦添グリーンハイツ地区学習等供用施設ブロック塀改修工事の2件の工事請負費の増によるものでございます。両工事とも当初予算へは計上されておりましたが、早急に改修工事を行う必要があったため予備費にて対応しております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 森田牧子市民協働・男女共同参画課長。

○ 森田牧子 市民協働・男女共同参画課長 決算書の159ページ、160ページをお開きください。2款1項11目市民協働・男女共同推進費の備考欄1市民協働・男女共同参画課事務費、2ハーモニーセンター管理事業、ページをおめくりいただき、3市民協働推進事業、4生涯学習まちづくり事業、5てだこ市民大学事業、続きまして163ページ、164ページの6男女共同参画推進事業、以上6事業は市民協働・男女共同参画課所管でございます。この中で前年度と比較し増減額が最も著しい事業について御説明いたします。これは、163ページ、164ページにございます6男女共同参画推進事業でございますが、額にして228万2,003円、率にして約76%の増となっております。同事業の増額要因といたしまして、いわゆる性の多様性を尊重する条例の制定に向け、市民アンケートの実施や事業所に対する調査、またパブリックコメントの実施などについて、臨時職員を1人増員してその事務に当たる必要があったためでございます。以上、説明を終わります。

○ 仲里邦彦 委員長 2款1項に対する質疑を許します。伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 144ページ、中段のほうの市民相談事業について伺います。市民相談事業、法律相談とか市民相談等々いろいろあると思いますけれども、これは予約をして、しばらく待つ期間が長いということで、市民のほうにはすぐになかなか対応してもらえないというお話が随分前はよくありました。それが改善

されてはきているということですが、今現在どのようになっているのか、そこら辺を伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 法律相談のほうで司法書士相談のほうは、空いていればもうその週で入れるという状況となっております。弁護士相談にいたしましても、翌週には入れる状況でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 それでは、相当改善されたという認識でよろしいのでしょうか。これは改善された何か理由があるならばお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 市民相談員のほうで相談内容を事細かく聞いて、先に先生方と調整するなり、スケジュールの調整ということを細かくやっていることによる効率のいい相談の予定が取れていることだと考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかにございませんか。稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 主要施策の成果等説明書をちょっと今確認しているのですけれども、その中の……

○ 仲里邦彦 委員長 ページおっしゃってください。ページお願いします。

○ 稲嶺伸作 委員 144ページの決算書のほうで市民相談事業があるのですけれども、そこに関連して成果等説明書10ページ、ここの中で弁護士とか司法書士の相談の仕組み、システムなのですが、1人当たりの相談時間というのが制限があるのか、あと回数に制限があるのかというのを教えていただきたいと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 1人当たり約1時間を目安に相談を受けております。回数については特に制限はございませんが、やはりこちら無料の相談になっておりますので、回数何回か必要であれば、ちゃんとしたまた専門のところにつなぐという方法を取っております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 分かりました。弁護士で例えば見たときに、毎週火曜日の2時から4時半の2時間半という時間の制限がありますけれども、その中で相談者が、では最大1時間という制限という理解でよろしいわけですね。それで、回数としても、1回当たり1時間のものを例えば今日受けたとして、そしたらその次の火曜日に同じようにまた1時間の上限を申込みさえすれば、予約さえすれば何度でも受けられるというのは考え方としては正しいのか、ちょっといま一度。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 同一案件であれば一応3回までというふうに制限を設けております。先ほど、すみません、私1時間を目安って言ったのですけれども、予約を取るときには、市民の皆さんには一応30分を目安にということで御説明しております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 これは、弁護士だけではなくて司法書士も同じ考えでよろしいですか。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 司法書士も同様でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 その下に主要施策の成果（実績）ということで市民相談、法律相談それぞれ件数が載っております。その他というところが市民相談では1,120件、法律相談では153件と数字が載っているのです。そのその他があまりにもまた多いので、その中でもまた上位に入るような相談というのがどのようなものがあるのか、参考までに伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 市民相談の統計を取るときに、種類別件数ということで22項目で一応分けております。こちら、主要施策のほうに載っていないものとしたしましては、多いのでいうと損害賠償とか、あと心身の相談とか、あと道路の相談とか、環境についての相談とか、様々な……教育関係とかもあります。様々な相談内容がございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 では、続きまして決算書では160ページで、説明書では16ページになるのですが、交通安全対策事業のほうもちょっと内容を伺いたと思います。この16ページの中には括弧で1から4まで施策、この内容がありますけれども、関連したことなのかと思うのですが、歩道のバイクの駐車というところもこの事業の中での、例えば（2）の迷惑駐車確認等業務ってあるのですが、そういうものに関連して歩道のバイクの駐車なんかも、違法駐車なども対象になるのかとか、あとまたバイクショップの前のところに、歩道に結構市内のバイクショップの販売用なのか、修理用のバイクなのか、結構並んでいるというところはよく市民からの声があって、担当課のほうに私もちょっと尋ねたことはあるのですが、そういうところの抑止策という意味でこの事業に関連した対策が反映されているのかというのを伺いたしたいと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 迷惑駐車の防止に関しては、一応2輪車も対象になっております。ただ、バイクショップ前のほうについてはちょっとこれから検討していくことになるかと思います。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 分かりました。市民相談の中でもやはり身障者の方とか、あとまた車椅子でも自動で歩道の上を走るときとか、やはり歩道という意味での違法駐車というところで結構市民相談を受けてはいるのです。なので、もしこの事業の中に組み込むことができるのであれば、ぜひ御検討いただきたいなと思っておりますので、よろしくお願いします。あと、最後なのですが、これは決算書では162ページになっておりますが、説明書の中の20ページのほう、てだこ市民大学事業に関してなのですが、これは令和元年度ですから、ちょうどこの対象の令和元年度の中で、てだこ市民大学の部分と、まちづくりアカデミーということでやり方がこれまでと変更になっていますよね。その中で、募集定員の部分で100%の充足率になっているのかとか、あとまた申込みの時点で前年度と比べたときにやはりその仕組みの改善がいい方向に行っているのかというところをお伺いたしたいと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 森田牧子市民協働・男女共同参画課長。

○ 森田牧子 市民協働・男女共同参画課長 まず、市民大学でございますが、平成30年度の学生から1学年制度になっております。その際、その前の年の定員、人数が4人でしたが、1学年制度になるこ

とにより16人に増えておりますので、一定程度の効果があったものと考えております。次に、アカデミーでございますが、こちらのほうは旧2学年相当分が大学院というみなしで、市民大学の中身をより深めるものとしてアカデミーを設置いたしました。アカデミーについては、定員20人に対し18人の応募がありましたので、アカデミーのほうも一定程度の効果があったものと考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 この合計の数で、てだこ市民大学が13人、まちづくりアカデミーが18人とありますけれども、これは考え方として市民大学の13人がまちづくりアカデミーにそのまま移行している数も重複というのですか、反映されているのか、それとも全く別々で、合計31人になるのですけれども、31人が1年で活用して卒業されたという考え方なのか教えてください。

○ 仲里邦彦 委員長 森田牧子市民協働・男女共同参画課長。

○ 森田牧子 市民協働・男女共同参画課長 令和元年度市民大学は、令和元年度の上半期で実施をいたしまして、下半期でアカデミーを実施いたしました。市民大学を修了した方が一部アカデミーを受講したということはございました。ちょっと人数のほうは把握しておりませんが、五、六人以上はいたように思います。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかにございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 暫時休憩いたします。

(休憩時刻 午前11時55分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午後1時15分)

午前に引き続き歳出を審査していきたいと思います。2款3項1目についての説明を求めます。大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 決算書の171ページから172ページをお開きください。2款3項1目戸籍住民基本台帳費、172ページの備考欄2市民課事務費、ページ変わります。173ページから176ページになります。174ページの備考欄3戸籍・住民基本台帳事業から下の6個人番号カード交付事業までは市民課所管分でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 3項1目に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 まず、172ページの説明の備考のほうにあります2市民課事務費のほうの(1)職員手当等、時間外勤務手当のほう、調書の歳出の1の説明内容のほうにその時間外が増加した部分について、改元の影響による戸籍届出増加に伴う届出処理件数の増加とありますが、平成30年度何件で、令和元年度は何件だったのかをお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 昨年、令和元年の5月から改元がございまして、それに当たり婚姻届が大変急増いたしました。ゴールデンウィークの期間中約50件ほどの婚姻届が出ておりまして、その処理に係る業務量というのが、戸籍を新たに作成したりというところがありますので、時間外のほうが大変増加しております。大変申し訳ございませんが、平成30年度の戸籍の件数はちょっと手元にございませんで、ちょっとお答えすることはできませんが、昨年度よりは大変増加した、この50件が大きな影響ということです。以上です。

- 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 1年通しては増減はあります。このゴールデンウィークの50件に集中して時間外が増えたという理解でいいのですか。
- 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。
- 大里千都美 市民課長 はい、特にこの期間が、ゴールデンウィーク期間の届出が集中していましたので、その後の処理業務がかなり増えたというところです。
- 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 174ページ、次のページに移りまして、備考の3戸籍・住民基本台帳事業の(3)委託料、その他委託料、その中に市民課窓口業務一部民間委託料7,259万4,000円ということで、これも調書のほうに説明はあるのですけれども、これについて費用対効果をどのように見込んでいるのか、第2期についてお聞きいたします。
- 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。
- 大里千都美 市民課長 まず、この第2期に関しましては、転入、転居などの住所異動におけるマイナンバーカード導入による検認作業や旅券事務がございまして、委託後に発生した新たな業務として追加されているため、それに係る人件費の分が増となっております。委託後に発生したこれらの事務を行うために必要な職員数を考慮した人数を直営にした場合と比較しますと、契約期間5年間の合計で約2,660万円の費用対効果が出ております。また、財政効果だけではなくて、それ以外にも市民の方々に対してのサービスの向上につながるような研修等も積極的に取り組んでおりますので、そういったところでアンケートの結果の中でもおおむねどの届出においても、窓口対応や届出の分かりやすさ、満足度は高く、委託の効果が現れているものと考えています。
- 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 委託の効果はあるということ、サービスが向上しているということでしたけれども、皆さんのほうで試算している現行どおりにやった、今現在、現行どおりの場合と、もし委託をしないで直営にした場合ということで費用対効果出していらっしゃると思うのですけれども、今現在正規職員を何人配置しているのか、そして直営にした場合何人を見込んでいるのか、それぞれお聞きいたします。
- 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。
- 大里千都美 市民課長 窓口業務に関しましての職員数につきましては、現在7人になっております。また、それ以外にも会計年度任用職員3人がおりまして、また委託のスタッフにつきましては今大体31人で稼働しております。これを直営にした場合ですと、まず委託スタッフと嘱託員を合わせて、会計年度任用職員を合わせて、そうしますと合計しますと34人という計算にしております。職員をまた7人から9人にしておりまして、2人増員しておりますが、まず嘱託役の委託スタッフがかなり人数が増えておりますので、そのための労務管理、それからもう一人は、先ほどもお話ししたように旅券事務ですとか、それからマイナンバーカードの交付事務に係るカードの追記事務というのが新たに、新たな業務というのが今増加しております。そういったものをそのスタッフの皆さんたちに研修も行っていかなければならないということで、そのスタッフのまとめ役、その体制を含めたものを対応するために1人増にしております。以上です。
- 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 正規の職員でいえば、配置しているのは現行7人、直営にした場合は9人配置する予定だということの説明がありましたが、2人多いと。直営のほうが。その説明として今あったのが、2人多いうちの1人は、直営にしたら労務管理しないといけない。会計年度任用職員が増えることによって。これは理解できます。もう一点の住民異動に伴うマイナンバーカード継続事務あるいは旅券事務の対応、これは現行でも今やっている事務だと思いますけれども、確認のためにお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 すみません。先ほど説明漏れてしまいましたが、委託スタッフが現在31人おりまして、直営にした場合には30人で計算しております。その1人を職員に替えているというところで、先ほど申し上げた教育面ですとか、それからスタッフに対しての指導、それから業務の進捗管理、こういったのを現場責任者が行っておりますので、この責任者を職員に替えての1人ということになります。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 臨時職員と言いましたか、今。今現在は……もう一度今の説明をお願いします。臨時職員、何を新たに……

○ 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 会計年度任用職員が現在3人おります。委託スタッフが31人おりまして、合計で34人を嘱託員として……失礼しました。委託スタッフを直営として行った場合には34人ということでやっておりますが、この……すみません、休憩をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後1時25分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後1時26分)

大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 失礼いたしました。会計年度任用に係る嘱託員がこれまで3人おりました。委託スタッフが31人いての合計34人となっております。この34人のうち30人を委託スタッフとして、30人を直営の人数としてカウントして、また残りの1人を現場責任者というところで職員のほうの人数ということでカウントしているというところです。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。

(「なし」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑ないようですので、次、3款1項4目、5目についての説明を求めます。大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 では、決算書の199ページから200ページになります。3款1項4目国民年金事務取扱費、202ページの備考欄2市民課事務費及び3国民年金事業は市民課所管分でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 決算書の201ページ、202ページをお開きください。3款1項5目の備考欄の1防犯対策事業は市民生活課所管でございます。前年度と比較いたしまして693万5,538円の減、率にして27%の減となっております。減の主な要因といたしましては、浦添市防犯灯LED化推進事業補助金においてLED化した防犯灯の数が平成30年度は709基、令和元年度485基と224基の減となっていることによるものでございます。以上でございます。

- 仲里邦彦 委員長 3款1項についての質疑を許します。西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 202ページの5目防犯対策費の今説明がありました備考の1防犯対策事業のほうで、その中で補助及び交付金のところで、今説明あったのですけれども……その前に、すみません。主要施策の成果等説明書の44ページ、その中で平成30年度の成果等説明書には沖縄被害者支援ゆいセンター補助金というものが5万3,000円あったのですけれども、令和元年度はないということについての説明をお願いします。
- 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。
- 与那覇純子 市民生活課長 被害者センターのほうから令和元年度については補助金の申請はしない旨の連絡をいただいて、計上しておりません。支払いのほうも実際行っておりません。以上でございます。
- 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 補助金の申請がなかった理由は分かりますか。
- 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。
- 与那覇純子 市民生活課長 そちらの団体の繰越金のほうで賄えるというふうに説明を受けております。以上でございます。
- 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 それは市が言ったわけではなくて、向こうからそういうことでという理解でよろしいですか。
- 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。
- 与那覇純子 市民生活課長 ちょっと休憩をお願いします。
- 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後1時31分)
- 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後1時31分)
- 与那覇市民生活課長。
- 与那覇純子 市民生活課長 沖縄県の41自治体のほうで補助金のほうを取りまとめて、各市町村に申請している中で、こちらのほうは各市町村の負担金のほう、補助金のほうは申請しないというふうに決まっていると聞いております。以上でございます。
- (「済みません、休憩をお願いします」と言う者あり)
- 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後1時31分)
- 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後1時33分)
- 西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 では、改めてですけれども、ゆいのほうから市長会に申請しませんという話があつてこういうふうになったのか、それとも市長会が繰越し多いからそれでやってねと言ったのかというのは御存じですか。
- 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。
- 与那覇純子 市民生活課長 そこのほうはちょっと確認取れておりません。以上でございます。
- 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 分かりました。もう一点、防犯灯LED化について、申請そのものが減ったということだと思いますけれども、これを設置するに当たって、LEDの防犯灯を、自治会の負担というものがあり

ますか。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 はい、ございます。設置費用の、まず各自治会がＬＥＤ化の工事をするに当たって、総額の１割は各自治会のほうで負担していただきます。その後、上限額がありはするのですが、２割は市の負担になっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 １割は自治会負担ということですが、自治会によってＬＥＤ化をできていない自治会が何自治会ありますか。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 各自治会、相談今しているところで、次年度まで一応持ち戸数、自治会会の中でまだ手をつけていないというところは２か所ございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 この２か所の自治会はＬＥＤに替えていくことができない理由というのは何ですか。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 １か所については、特に必要がないというふうに考えているのと、もう１か所については１割負担の分の資金がちょっと負担が大きいというふうに聞いております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 先ほどとも関連しますけれども、やっぱり自治会が今かなり財政的に、会員も減ってきているし、厳しい部分があるというのがおおむね聞かれるところですが、今の１割負担ができなくて替えていけないと、そういうことになれば当然コストも、電気料というのもＬＥＤ化したほうが軽減されるよということがあると思うので、ランニングコストも高いまま替えることもできなくて、首が回らなくてどうしようというような状況があると思うのですが、それについてはどういうふうに対応しようと考えていますか。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 自治会のほうともやっぱり協議を今重ねているところです。１割負担のほうの資金の捻出については、各自治会のほうでやはり負担していただいているという状況もございますので、自治会の財政が厳しいのであれば、浦添市内のほかの自治会なのですが、地域内で企業さんの協力を得たりとか、そういうことで対応しているところもございますので、財政的に厳しい自治会のほうとはそういう情報提供とかもやりながら、どうにかできる方法はないかということで協議を進めているところでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 防犯という観点から、やっぱり住んでいる地域によって暗い危険な道があるというところがあったり、あるいは自治会によっては、自治会の地域内は明るくて、防犯上あまり心配しないでもいいとかという、市内でそういう住んでいる地域によってそういう格差が生まれてくるということについては何とか改善する必要があるかなと思っていまして、どういう方法でこれを改善するかというのは議論が必要だ

と思いますけれども、これも検討課題としては持っていてほしいなと思っております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に4款1項についての説明を求めます。金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 それでは、決算書の245ページ、246ページをお開きください。歳出4款1項1目の備考欄の11環境保全課事務費、続きまして249ページ、250ページをお開きください。4款1項3目環境衛生費の備考欄の1環境保全課事務費、2公害対策事業、252ページをお開きください。備考欄の3環境学習推進事業から同じ備考欄の7環境配慮施策推進事業、続きまして254ページをお開きください。備考欄の8里浜保全事業、以上は環境保全課所管です。この里浜保全事業についてですが、これは浦添市里浜の保全及び活用の促進に関する条例及びそのガイドラインに基づきましてカーミージー周辺の自然環境を保全するとともに、環境学習や憩いの場、人と自然との触れ合いの場など、そういった活用を促進するためカーミージー周辺海域環境調査を実施し、自然再生に関する全体構想を策定することを目的とするものであります。歳入のところでも御説明いたしました県からの自然環境再生支援事業補助金を活用している事業でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 4款1項についての質疑を許します。又吉正信委員。

○ 又吉正信 委員 252ページの環境学習推進事業の内容についてちょっと教えていただけ…。

○ 仲里邦彦 委員長 ちょっと聞こえない。

○ 又吉正信 委員 252ページの環境学習推進事業についてお聞きします。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 これ内容といたしましては、環境教育、環境学習を推進するため、成人を対象とした環境教育リーダー養成講座と児童生徒を対象とした環境学習講座を開講しております。これが具体的な取組でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 又吉正信委員。

○ 又吉正信 委員 対象の皆さんと、年間通して何回やっているのか。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 令和元年度の実績でいいますと、環境教育リーダー育成講座、これが7回やっております。受講生は9人いらっしゃいました。環境学習講座、これは児童生徒対象ですけれども、これが年間5回、受講生が35人となっております。

○ 仲里邦彦 委員長 又吉正信委員。

○ 又吉正信 委員 人数がリーダー養成が7回の9人と。学習講座が5回ですか。委託料が199万円なのですけれども、こんなに費用かかるのですか。

(「ちょっと休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午後1時44分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午後1時45分)

金城盛達環境保全課長。

- 金城盛達 環境保全課長 回数全7回、また成人対象の環境教育リーダー育成講座に関しましては全7回を実施しておりまして、各回常に外部に出て行って、大型バスを利用してやるということもございまして、またさっきの児童生徒対象の事業についてもバス移動で県内あちこち、北谷浄水場とか沖縄開発の水産養殖研究センターなど、県内あちこちに移動するということもありますので、そういうことでそのぐらの金額になってございます。
- 仲里邦彦 委員長 又吉正信委員。
- 又吉正信 委員 予算も199万円ですか、これだけの予算を計上して、しっかりしたリーダー育成とか環境学習講座を開催しているのですけれども、人数を少しでも多く、参加者が増えるように次回からはしっかり努力していただきたいなと思います。予算を計上した割にはちょっと人数が少ない。もっと増やす方法をひとつ、広く呼びかけをしていただきたいなということで終わります。
- 仲里邦彦 委員長 ほかにございませんか。西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 250ページの3目環境衛生費の備考の2公害対策事業の中の(1)委託料、その他委託料の中のPCB調査等の財源についてお聞きいたします。
- 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。
- 金城盛達 環境保全課長 財源は、これ一般財源でございます。
- 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 キャンプ・キンザー米軍基地からの汚染を調査するためのPCB検査というふうに理解しているのですけれども、国に対してこれまでそういう調査の費用等持ってくれというのを要請なりしたことはありますか。
- 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。
- 金城盛達 環境保全課長 直接本市から要請するということはしておりませんが、いわゆる軍転協さんを通してそういった要請は一応してはいるところでございます。
- 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 国が米軍基地を置いていることによって本市の環境が汚染されている、それを把握しようと浦添市が努めているというような状況があると思いますので、本来第一義的にはやっぱり国がやるべきことだと思いますので、引き続きそういう要請なりはしていただきたいと思います。そして、次ですけれども、254ページの備考の8里浜保全事業について、主要施策の成果等説明書の85ページに事業の内容と成果が書かれていますが、2主要施策の成果(実績)の部分で、環境調査として定点調査、生物相調査、環境別代表点、こういう調査やっていますが、どのような専門家の監督というのですか、監督の下、こういう調整やったらいいですよとか、そういうアドバイスだとかをもらって調査しているのかどうかをお聞きいたします。
- 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。
- 金城盛達 環境保全課長 専門の業者のほうに委託をしております。以上です。
- 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。
- 西銘 健 委員 どちらの業者に委託していますか。その業者は環境の専門家の意見を聴取しながら調査しているのかどうかというのを確認していますか。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 業者名は、株式会社イーエーシーさんでございます。これ専門の業者でございます。

(「ちょっと休憩」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 1 時 51 分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 1 時 52 分)

西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 休憩中説明があったので、分かりました。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ありませんか。伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 今の250ページのところですけれども、下段のほう、公害対策事業、P C B 検査というのはまずそもそも何なのか、お願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 この調査は、市内の3か所から、水底などから採取しての底質調査、水底から土を取っての底質調査、それと市内の4か所からハブを捕獲しての調査、それからカーミーギー海岸からアーサ、それと貝を採取しての調査を実施しております。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 市内3か所の何て言いました。水って言いました。

(「水底というのですか。川とか池とか」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 1 時 53 分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 1 時 54 分)

金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 3か所、1か所は西海岸の河口のほうから1か所、次はシリンカーというところで1か所、それとカーミーギーから、水底から土を採取しての調査となっております。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 このP C B 検査を、採取の仕方は聞いたとおりで分かりましたけれども、なぜやる必要があるのかを伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 これは、数年前に名桜大学の教授の方がキャンプ・キンザーの周辺のハブから検査したところP C B が検出されたという、そういうふうな発表があったという、それがきっかけと聞いております。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 P C B が検出されたということで、P C B が人体、何にどういう影響を及ぼすのかを伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 申し訳ないです。あまり専門的で詳しくはちょっと今御説明できないのですが、やっぱり人体に有害と言われている物質でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 その貝の調査とか、アーサを調査してP C Bが実際に検出されているのでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 今ここ最近の調査、ここ数年の調査では、そもそもP C Bには基準値というのが定められてはいないようなのですが、一応検出はされているということでございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 西海岸が開かれて、あちらでアーサを取ったり、タコを捕ったりとか、貝を捕ったりする人結構、夜の干潮の時間とかに結構電気つけていらっしゃるのを何度も見えていますし、僕もやったことあるのですけれども、タコもいます。そういうところから人体に影響があるP C Bが検出されている、今現状あるということですね。この出てきている理由と、名桜大学の先生がこれを見つけたということですが、何年前から見つけて、発見されて、それ以降検査されているのか。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 1 時57分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 1 時58分)

金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 すみません。今、何年の発表だったかというのは、すみません、ちょっと手元なくて、後でまたちょっとお知らせしたいと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 休憩していいので、調べてもらえませんか。休憩でいいのです。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 1 時58分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 2 時10分)

金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 まず、名桜大の先生が発表したというのが平成26年か平成27年ということで、検査が始まったのが平成27年度から検査をしております。それで、その平成27年度から今までの中で、先ほど少しお答えしたことちょっと修正させてください。訂正させてください。底質の部分の基準値、基準値はございまして、P C Bに関してですね、ただここには検出がされていないということでございます。結局検出されたのはハブです。ハブの調査では検出されておりますが、ただハブに関しても基準値はないということでございます。あと、アーサと貝からも、貝のほうには基準値はございますが、アーサに関しては基準値はないということになっていて、P C Bに関してはアーサにしても貝にしても検出されておられません。だから、結局検出されたのはハブということに、ハブのみということになります。先ほど人体に有害とちょっと申し上げたのですが、基準値はそもそもないということで、人体に影響があるかどうかは今のところはっきりまだ分からないということになっているとのことでした。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 たしか先ほどアーサや貝からも検出されているという答弁だったと思うのですけれども、それは、ではないということだと、訂正ということですね。

(「はい」と言う者あり)

○ 伊礼研一 委員 ハブからしか出ていない。先ほど市内3か所の水源、西海岸のほう、あるいはシリッカー、カーミージーのほうということでした。ハブの調査箇所4か所というのはどちらなのかを伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 その4か所は、小湾川下流、メイクマンの近く、港川の知念工業所、あとは港川の畑となっております。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 これ五、六年ですか、770万円余りずっとかけてきて調査してきて、しかもそれは単費で四、五千万円かけているということで、明らかにこれ基地から出てきているPCBではないかという、素人でもそういうふうに思うと思うのですけれども、その辺いかがでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 基地の周辺ということで、そうであるという考えもあるかと思いますが、これまだ断定はできないという状況ではございますが、ただ先ほど申し上げましたように軍転協を通してこういう立入調査などの要請はしているところでございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 ほかのところで検査したことがありますか。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 ほかのところでは調査はしてございません。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午後2時14分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午後2時16分)

金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 失礼しました。本市では基地周辺以外はやっておりませんが、名桜大の先生のほうは基地周辺、それ以外の地域でもやっておりまして、一応両方から、いずれも検出されたということですが、これ基地周辺のほうが数値が高かったという発表だった。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 その数値が高かったというところはどのくらい高かったのでしょうか。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午後2時16分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午後2時17分)

金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 その具体的な数値は把握してございません。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 いずれにせよ、基地周辺が濃度が高かったということは基地に関連しているだろう、可能性は非常に高いということで、先ほど西銘健委員が言っていたように、これは当然防衛省から予算引っ張ってきてやるべきだというふうに指摘します。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 250ページ、今の伊礼研一委員と関連しますが、備考欄の2公害対策事業……

○ 仲里邦彦 委員長 マイクお願いします。

○ 真栄城玄誠 委員 公害対策事業費776万1,950円なのですが、今のキャンプ・キンザー周辺から捕獲したハブの体内からPCBが発見されたという件でございますが、この件は、これ5年前、平成26年か平成27年の当時、新聞にも大きく掲載をされましたね。議会でも議員の方から一般質問が出ております。内容をちょっと説明してみますと、キャンプ・キンザー周辺から捕獲したハブの体内からまずはPCBが発見されたという。ということは、このキャンプ・キンザー周辺の動植物がPCBによって汚染をされていると。そこにすんでいるネズミ、カエルがその辺の餌を食べて、そのネズミ、カエルを餌としているハブがネズミ、カエルを食べて、そのハブの体内からPCBが発見をされたということです。その件については、先ほども話がありましたが、名桜大学の先生にお願いをしたら、これは明らかにその地域は汚染をされているということで、またそれ以外にもキャンプ・キンザー周辺の排水溝、そこにすんでいる貝の体内からもPCBが発見されているわけです。これは、その排水溝の周辺にすんでいる貝なのです。貝というものは、あまり移動しないわけです。その排水溝に定着をしているのだから、そこで餌を食べて排水溝の入口ですから、これはもう明らかに基地から流れたPCBが影響しているということで、その見解が出ておりました。この件は、私も2回ぐらい一般質問をいたしました。そして、市当局の結果は、これは追跡調査をする必要があるだろうと。追跡調査をしてこれを明確にする必要があるという答弁をしておりました。ですから、その後、皆さんは担当者から引継ぎをして、この辺をきちっと整理をして、予算を計上して、しかるべき調査をして、今みたいなああいう答弁では、これいけないと思うのです。きちっとこれを整理されていると思うのです。皆さん、休憩してでもいいですから、当時の質問書見てください。きちっと答弁していますよ。議会でこんないかげんな発言では困ります。議員軽視です、これは。まずはその書類がきちっと引継ぎされているか確認してください。委員長、確認させてください。そうでなければその当時のコピーをみんなに配ってください。2回ぐらいこれ、二、三回質問しています。私も含めてほかの議員も。新聞にも大きく掲載をされて、大きな問題でしたよ、これは。それを今みたいな答弁で、そう思いますとか、訂正しますとか、PCBのこれ人体に影響ないとか、これ皆さん、それ以降きちっと追跡調査していますか。しているならこの書類があるのではないですか。きちっと説明してください、あるかないか、まずは。何言っていますか。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 今現状やっている調査方法でずっと継続をしているという状況でございます。調査結果についてはホームページに公表はしております。追跡調査ということについては、すみません。申し訳ないです。これはちょっと特にここでは実施してございません。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 では、過去の一般質問も踏まえて皆さんがどういうふうに対応したのか、今きちっとここで報告してください。私の質疑も含めて。伊礼研一委員の質疑も含めて。これこんなあやふやでは困ります。議会で答弁したからには、責任を持ってきちっとすべきではないですか。事務引継もきちっとすべきではないですか、これは。休憩して調整してください。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午後2時24分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午後2時40分)

金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 では、改めまして、このPCBに関してもう一度ちょっと御説明させていただきます。先ほどもお話ししましたが、平成26年に名桜大の先生が調査をして、基地周辺のハブ、それとそれ以外のハブ、両方とも調査をした結果、基地周辺から出たハブからのPCBの濃度が高かったということを新聞で発表いたしましたして、それを受けまして、本市では平成27年度から調査を始めております。調査としましては、底質、それとハブ、それからアーサ、貝ということで調査をして、底質と貝については基準値があって、その基準値よりは下ということになっております。ただ、ハブに関しては、基準値はないのですが、毎年検出はされているという状況でございます。これは、そうなるとやっぱり基地からの原因という可能性が高いのではということも考えられますので、本市としまして平成27年度からもう毎年ずっと調査を続けております。毎年ハブからは出ているということもございますので、今も軍転協さんを通して立入調査、改善の要請をしているところでございますが、今後も市としてできることをしっかりやっていきたいと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 今回の答弁になりますと、平成27年からずっと現在まで追跡調査は実施しているという事です。再度確認。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 同じような形での調査ではありますが、ただ今できることをやっているということでございます。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 これ追跡調査をするからには、やはりこの調査の項目、調査の手法、そのほうも制度化されたあれをしないと比較対照がこれできない感じが私しますが、この辺については皆さんのほうできちっといろんな専門家の意見を聞きながら、その辺の制度化された調査票に基づいてきちっと調査をして検証しているのでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 特に専門の方というわけではないのですが、この調査を委託している業者さんから聞いている、報告を受けているというような、今そういう状況です。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 そうしますと、この委託料は、751万6,960円というのは今課長がおっしゃった追跡調査に係る金額ですか。

○ 仲里邦彦 委員長 時間ですけれども、では答えてください。金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 決算書にある委託料の部分は、ハブだけではなくて河川水質調査、それと騒音調査、悪臭調査など、そういった調査も含まれております。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に4款2項の説明を求めます。金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 では、決算書の254ページをお開きください。4款2項1目の備考欄の1環境

保全課事務費、備考欄の3ごみ減量・適正処理啓発事業、256ページをお開きください。4款2項2目塵芥処理費の備考欄の1ごみ収集事業、続きまして258ページをお開きください。4款2項3目塵芥処理施設費の備考欄の5新一般廃棄物処理施設整備事業のうち、(1)報酬、(3)旅費の費用弁償、260ページをお開きください。備考欄の(6)委託料のうち環境影響評価に係る部分、続きまして同じ備考欄で4款2項4目備考欄の1し尿・浄化槽適正化事業、4款2項5目の備考欄の1リサイクル推進事業、以上は環境保全課所管です。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城高光環境施設課長。

○ 宮城高光 環境施設課長 決算書255ページ、256ページお願いします。4款2項3目塵芥処理施設費の備考欄2環境施設課事務費、ページをめくりまして決算書258ページ、備考欄3塵芥処理事業、備考欄4クリーンセンター管理事業、ページをめくりまして260ページ、目が変わりまして、4目し尿処理費のうち、260ページの備考欄2し尿処理事業、すぐ下に続きまして、5目廃棄物再生処理施設費のうち、備考欄2リサイクルプラザ管理事業は環境施設課所管でございます。ページ戻りまして、決算書256ページお願いします。備考欄2環境施設課事務費につきましては、対前年度比で10万4,152円の減、率にして10.9%の減となっております。ページをめくりまして、決算書258ページをお願いします。備考欄3塵芥処理事業につきましては、対前年度比で1,875万2,348円の増、率にして43.7%の増となっております。増の主な要因としましては、ごみ運搬及び最終処分業務委託料の増によるものです。対前年度と比べまして、金額にして1,889万2,313円の増、率にして53.6%の増となっております。これにつきましては、施設内にストックしている飛灰等が前年よりも多く、その処理や搬出のために経費が増加しております。飛灰等の増加の要因としましては、熔融炉の機器の故障等により計画的な稼働ができなかったため稼働日数の減となり、処理量が減ったことなどが要因となっております。備考欄4クリーンセンター管理事業につきましては、対前年度比で2,280万1,543円の増、率にして3.8%の増となっております。増の主な要因としましては、消耗品費の増によるものです。内訳としまして、モーターやポンプなどの回転機器類の購入で1,320万円、電気機器類の購入で180万4,000円、焼却炉火格子用部品の購入で899万4,700円などを購入したため増となっております。ページをめくりまして、決算書260ページをお願いします。目が変わりまして、4目し尿処理費の備考欄2し尿処理事業につきましては、対前年度比で24万5,316円の増、率にして3.6%の増となっております。続きまして、5目廃棄物再生処理施設費の備考欄2リサイクルプラザ管理事業につきましては、対前年度比で1,486万8,757円の減、率にして27.2%の減となっております。減の主な要因としましては、前年度は計量器の更新で993万6,000円、台風被害修繕で647万9,998円などがあり、今年度はそれがなく、施設修繕料が減少したため減となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 4款2項清掃費の質疑を許します。伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 258ページ、クリーンセンター管理事業ですけれども、消耗品費が増の主な要因で、モーターを購入したとか先ほどおっしゃってございましたけれども、あちこち光熱費などから流用して、消石灰、珪藻土、ごみクレーン走行モーターを購入したということですが、途中で急に故障したのか、そしてこのそれぞれどういう理由で購入したのか、その辺を伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城高光環境施設課長。

○ 宮城高光 環境施設課長 消耗品等の購入につきましては、耐用年数等もありまして、機械が途中で壊

れると業務に支障が来るので、早目の交換や予備品として購入しております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 その更新なのですけれども、ごみクレーン走行モーターの更新というのがそのときに、今回の決算で当たるのであれば、なぜ光熱費からの流用が必要だったのかを伺います。要するに事前に予算を組むことができるのではないかということです。急な故障でということではないのであれば。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 2 時54分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 2 時55分)

宮城高光環境施設課長。

○ 宮城高光 環境施設課長 流用等につきましては、その状況等によって緊急性があれば流用して対応しております。予算につきましては、あらかじめ想定できるものは予算立てをしております。ただ、あまりそういったのが把握できないものについては、その都度状態を見ながら修繕等を行っている状況であります。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 ごみクレーン走行モーターは、結局流用したわけですね。先ほどの答弁では更新もあるから流用したと言っていましたけれども、更新が前提で分かっているのだったら、そのために事前に、法定年数か何かあって、基準があって、それに向けて予算組めばいいのではないですかという趣旨の質疑したのですけれども。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城高光環境施設課長。

○ 宮城高光 環境施設課長 機械には耐用年数等あるのですけれども、私たちのほうで把握している部分と、あと長く使えるものについてはできるだけ長く使いたいということもありますので、そういったのを加味しながら予算立てをしたり、あと流用等で対応したりとやって行っております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員、よろしいですか。

○ 伊礼研一 委員 いいです。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 254ページの4款2項1目清掃総務費の備考の3ごみ減量・適正処理啓発事業の、次のページに行って、256ページ、上のほうからそのまま(6)委託料、その他委託料の中で、調書の歳出の4ページに出てきますけれども、廃棄物処理手数料徴収委託料についての説明をお願いします。

(「ちょっと休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 2 時57分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 2 時57分)

金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 では、この手数料に係る委託料の御説明いたします。これちょっと少し難しいですけれども、ちょっと御説明します。まず、ごみ袋のどういう流れでいくのかということから御説明します。これは、本市が指定ごみ袋の製作業務の委託契約をまず締結します。その製作者にごみ袋を発注します。それで、この製作者から卸業者に卸される。次に、卸業者から小売業者にごみ袋が販売されます。この小売業者から市民へこのごみ袋が販売されるという、そういう流れになっております。大のごみ袋が1

枚25円ですので、これを例にちょっと説明いたします。製作者から卸業者へ卸すときには、ここには金銭のやり取りはございません。次に、卸業者から小売業者に販売されますが、これは1枚25円で販売をされます。小売業者から市民へも同じ1枚25円で販売されるということになります。この手数料なのですが、本市に処理手数料を支払うのは卸業者でありまして、小売店に販売した分を、1枚25円の手数を本市に支払うということになっております。そして、本市からは、この卸業者に対して、その手数料をいただいた分の委託料、1枚当たり5円を支払うということになっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 では、市からの卸売業者に対しての1枚当たり5円の手数料……

(「委託料です」と言う者あり)

○ 西銘 健 委員 委託料が支払われている。これはどういう、何で決まっていますか。契約でやっているのか。それとも、規則か何かで決めてやっていますか。そういう決まりというの。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 これは、本市の浦添市一般廃棄物処理手数料徴収事務委託に関する規程というのがございまして、その中でこの指定袋に関しては1枚につき5円、粗大ごみのステッカーについては1枚30円ということで規定されております。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 これは、どこの自治体も、ごみ袋を有料化しているところはこういう流れでやっているのですか。あるいは、ごみ袋を有料化、指定ごみ袋を作っていない自治体もありますか。そういうところではどういうふうにやっているのかというのをもし今御存じでしたら。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 今ちょっとその詳細が、すみません、今把握してございません。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 ほかの自治体でどうやっているのかよく分からないのですけれども、できるのか、できないのか、いわゆる指定ごみ袋を設定、作らなくても、そういう環境負荷を減らしていくという意味での経済の内部化という意味で、指定ごみ袋を作らなくても委託料というのか、手数料というのかを卸の皆さんにかけて、それを小売で反映させるのか、方法としてよく分からないのですけれども、やり方というのできるのか。すみません、休憩をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。(休憩時刻 午後3時02分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。(再開時刻 午後3時03分)

西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 分かりました。ちょっと経費をどうかけるかということ、ごみの量を減らすということと、なるべく市の負担を減らしていくということで、どういうやり方があるのかなというのを少し研究する必要もあるのかなと思って、こういうところにお金かかっているのだという部分で少し気になったので、今聞きました。私自身も少し調べることでできればやってみたいと思います。次、すみません、その下の2目塵芥処理費の部分の備考の1ごみ収集事業のその他委託料の部分で不用額が264万7,315円出ているので、その説明をお願いします。

(「ちょっと休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。(休憩時刻 午後 3 時04分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。(再開時刻 午後 3 時07分)

金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 このごみ収集事業の委託料は、いわゆる一般の家庭ごみの収集の委託料でございます。当初予算額があつて、あと業者の方とのいろいろ見積り取ったり、調整をした結果、260万円ぐらいの不用になっております。また、ここでちょっと少し不用額というか、予算額だと少し少なく契約するというのは、通常委託以外に臨時的に発生するごみもあるので、それも想定していることもありまして、結果このように各種不用額となったということでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 毎年こういう不用額って出て、予算立てしていますか。ちょっと私確認していないのですけれども。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 どの程度の額かということはちょっと把握していませんが、ある程度の不用額は出ているかというふうに思います。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 1 委託事業者当たりの委託料というものに、この令和元年度は変化がありましたか。具体的にどこで不用が出ているのかを聞きたくて。例えばもともとの委託料、契約時点で既にこの委託料でやっているのか。もともと想定していたものが減ったのか。例えば仕事がこれだけ減るから委託料も減らしますねとかというやり取りがあったのか。そういうわけではない。

○ 仲里邦彦 委員長 金城盛達環境保全課長。

○ 金城盛達 環境保全課長 今回は、予算措置の段階では委託料は少し増しておりました。令和元年度は。だから、特にごみの委託業務が減るという、そういうことはないことでありますが、業者間でいろいろ調整をしている中で、予算調整をしている中で結果的にこのような不用額となったという理解であります。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に 5 款 1 項 1 目について説明を求めます。新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 決算書261ページから262ページを御覧ください。5 款 1 項 1 目、備考欄 1 失業者対策等事業は産業振興課所管でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 5 款 1 項に対する質疑を許します。伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 具体的にどういう事業をしているのかお伺いします。

○ 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 こちらの事業といたしましては、沖縄駐留軍離職者対策センターへの補助金を支出する事業でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

- 伊礼研一 委員 もうちょっと分かりやすくお願いします。
- 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。
- 新里優子 産業振興課長 沖縄駐留軍離職者対策センターという法人が昭和48年に設立許可されております。そちらの団体が行う事業が離職者対策事業、そして駐留軍離職者のアスベスト関係相談業務という業務を行っております。そちらに対する補助金の支出ということになっております。以上です。
- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 ごめんなさい。よく分からないのですけれども、主要施策にも書いていますか。
- 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。
- 新里優子 産業振興課長 主要施策の成果等説明書のほうには入れてございません。
- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 ごめんなさい。いま一度、全然意味が分からないので、どういう、アスベストとかそういう何とか、今いろいろなこと出ましたけれども、どういう現場で失業した人を支えているところに対して交付している内容なのか、いつからやっているのか、浦添市はどういうふうに関わっているのか等々、ちょっと細かく丁寧に教えてください。
- 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。
- 新里優子 産業振興課長 こちらの沖縄駐留軍離職者対策センターは、昭和48年に財団法人として設立が許可されております。駐留軍で働いていた方の離職者の各種相談業務や職業の紹介業務などを行っております。本市といたしましては、当初が何年から補助金の支出があるかは、すみません、今手元に資料がございませんが、平成25年度一旦交付を終了した時期がございましたが、平成28年度からは再交付ということで補助金の交付を再度交付しております。
- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員、いいですか。伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 駐留軍の離職者に対して支援するための交付金ということですが、2年間止めていたということもあったみたいですが、これ浦添市だけが交付しているのですか。これは、あちこちの市町村が交付してこの事業が一つ成り立っているのですか。どういうふうになっているのですか。要するにほかの自治体とか。
- 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。
- 新里優子 産業振興課長 浦添市のほかの市のほうでも補助金は支出しております。こちらは中部市町村会の決定、補助金の金額につきましては中部市町村会で決定されて支出しております。
- 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。
- 伊礼研一 委員 中部市町村会が人口割か何かで各市町村に交付金を求めている、それに対する支払いを毎年続けていると。それがなかった年が2年間あったという、請求されることがなかった年が2年間あったということですか。そして、その駐留軍離職者の失業者のその事業がどういう成果を出しているかというのは皆さんは御存じなのか。もちろん御存じだと思うのですが、その辺聞いていいですか。
- 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。
- 新里優子 産業振興課長 大きく分けまして2つの事業を行っております。離職者対策事業といたしましては、再就職の相談が全体で1,236人、職業の紹介が540人、職業訓練が270人、生活相談421人という実績、

令和元年度の実績となっております。2つ目の事業といたしましては、アスベスト関係の相談業務ということで、こちらのほうは、令和元年度、延べで341人、そのうち浦添市がお二人、相談者がいたということになって報告がございます。また、駐留軍の労働者は令和元年3月末日現在で8,957人、うち浦添市の方が450人ということでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 今、450人浦添市内で駐留軍で働いている方がいらっしゃるということですが、このコロナ禍で失業した方、もし御存じだったら。分かれば。

○ 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 申し訳ございません。人数は把握してございません。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 では、質疑はないようですので、次に2項1目のほうの説明を求めます。新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 決算書は、同じく261ページから264ページでございます。5款2項1目労働諸費、備考欄2産業振興課事務費、3雇用促進事業は産業振興課所管でございます。なお、雇用創出事業及び沖縄技能五輪アビリンピック2018併催イベント開催事業につきましては、事業終了により対前年度皆減となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 5款2項1目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようでございますので、次に6款1項2目、3目についての説明を求めます。新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 決算書264ページを御覧ください。6款1項2目農業総務費、備考欄2産業振興課事務費、ページをめくっていただきまして、266ページ、3目農業振興費、備考欄1島桑による観光・産業振興事業、2農業振興事業、3養蚕普及事業が産業振興課所管でございます。なお、浦添市農業フェスタ事業につきましては、豚熱発生の影響によりイベントが中止となり、事業に係る補助金が不要となったため、対前年度皆減となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 6款1項に対する質疑を許します。稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 266ページの6款農林水産業費、1項農業費の3目農業振興費の備考欄の1島桑による観光・産業振興事業についてお尋ねします。売上げ金額として、説明書の88ページも今一緒に見ながらなのですが、売上げが2,465万9,393円となって計上されております。前年比、そのまた2年前までちょっと遡っていただいて、その売上げが順調に伸びているのかというところをちょっと教えていただきたいと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 商品の売上げ金額を申し上げます。前年度、平成30年度の売上げですが、1,826万9,399円でございます。平成29年度の実績でございますが、1,723万5,967円となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 ということは、1,700万円から1,800万円、そして2,400万円ということで順調に事業の成果が売上げにも現れているという理解をさせていただきます。あと、説明書の中に開発検討中というものがあるのですけれども、その開発の進捗状況ももし分かればお尋ねします。

○ 仲里邦彦 委員長 新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 すみません、手元に新規の開発の分が持ち合わせていないのですが、去年までの桑の実のワインとかジャムとかに加えて、今年度はまたジュースのほうも、それと飲むお酢のほうを今開発しております。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 分かりました。またこの事業の成果が予算に応じてどんどん今伸びているということとか、商品をもっと充実していっているということが分かりましたので、ありがとうございます。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 ないようでございますので、次、6款2項1目についての説明を求めます。新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 決算書は、同じく266ページでございます。6款2項1目林業総務費、備考欄1林業振興事業は産業振興課所管でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 2項1目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようでございますので、次に3項の水産業費についての説明を求めます。新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 決算書は268ページを御覧ください。6款3項1目水産業総務費、備考欄2産業振興課事務費、2目、備考欄1水産業対策事業は産業振興課所管分でございます。2目の水産業対策事業につきましては、浮魚礁更新整備事業に係る委託料が皆増となっております。続きまして、270ページを御覧ください。3目漁港管理費、備考欄1漁港管理事業は産業振興課所管でございます。前年度繰越明許費につきましては、歳入で御説明申し上げました牧港漁港の附帯施設更新工事に係るものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 3項に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑ないようでありますので、次に7款商工費のほうに行きます。説明を求めます。新里優子産業振興課長。

○ 新里優子 産業振興課長 決算書は、同じく270ページでございます。7款1項1目商工総務費、備考欄2産業振興課事務費、ページをめくっていただきまして、272ページ、2目商工業振興費、備考欄1商工業振興事業、2結の街管理運営事業、3織物振興事業、4養蚕絹織物施設管理事業、以上が産業振興課所管分でございます。備考欄3織物振興事業につきましては、うらそえ織商標登録の存続期間更新に係る特許庁への更新手数料で、対前年度皆増となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 決算書の271ページ、272ページをお開きください。7款1項3目の観光費、説明欄の1観光振興課事務費、ページをめくりまして、説明欄2観光振興事業、3観光振興事業（沖縄振興特別推進交付金）、4ヤクルト球団関連4市交流事業、ページをめくりまして、5浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業が観光振興課所管でございます。この浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業につきましては、新たな事業項目でございます。これまで説明欄3観光振興事業（沖縄振興特別推進交付金）の中で計上しておりましたが、事業に係る予算項目も多いことから、新たな事業項目を設けております。この事業につきましては、対前年比なのですけれども、67%の減となっております。この減の主な理由としまして、ちょっと委託事業の内容が昨年度と違ってございまして、昨年度がにぎわい交流施設に関する委託事業、今回の委託が交通広場に関する委託事業になってございまして、その分の減になっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 与那覇純子市民生活課長。

○ 与那覇純子 市民生活課長 決算書の275ページ、276ページをお開きください。7款1項4目消費者行政推進費の備考欄の1消費者行政事業、2消費生活相談事業は市民生活課所管でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 7款商工費に対する質疑を許します。稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 274ページの7款商工費、1項商工費の備考、観光振興事業の（8）負担金、補助及び交付金の補助及び交付金436万4,000円となっております。これは浦添市観光協会への補助金だと思いますけれども、その内容をお聞かせください。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 これは補助金でありまして、浦添市の観光協会のほうに補助をしております。具体的な内容としましては、観光協会の人員の人件費のほうの手当として出ているところでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 恐らく人件費だろうとは思っていましたが、観光協会の基盤整備を一般質問等でも継続して取り上げさせていただいております。その部分の意味も含めて、過去の直近2か年、この人件費に当たる補助金はどう今移っているのかというのを知りたいので、分かれば教えていただきたいと思えます。

（「休憩お願いします」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後3時29分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後3時29分)

仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 先ほどの答弁で少し訂正したいところがありまして、人件費にも充ててはいるのですけれども、観光協会の組織体制の事業のための経費にも充てております。直近の平成28年から令和元年までなのですけれども、支出累計としましては、平成28年が484万8,000円、平成29年度も同額、484万8,000円となっております。平成30年が436万4,000円、令和元年が436万4,000円となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 平成28年、平成29年のほうが多くて、平成30年、また令和元年というのは減少してい

るのですけれども、これは協会の人員が不慮な、私的な退職とかもあったと思うので、そういうところでの影響を受けての減という理解でよろしいのでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 そういう側面もあるのと、あと自立して協会としてやっていってもらいたいというところも踏まえての補助金となっております。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 では、説明書の92ページの観光振興事業のほうで、真ん中の2主要施策の成果（実績）が載っています。その①の浦添市観光振興事業の4つ事業の内容が、成果が書かれているのですけれども、プロ野球のキャンプファン誘客は目標値を上回っていて、教育旅行誘致についても目標を上回っている。MICE誘致についても目標値を上回っているのですが、一番最初の観光ポータルサイトの目標値だけ下回っているのは、これはどういうことなのでしょう。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 うらそえナビを御覧になっている方々が主にやっぱりヤクルトファンが多いというのが実際現状ありまして、直接的な原因になったかはあれなのですが、ペナントレースの結果がちょっと悪いときには、やっぱりポータルサイトを見てもらえるのもちょっと少なくなっているというのが現状でありまして、それが主な原因だと思いますけれども、今後は見れるような形で誘客に努めていきたいと思っています。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 ということは、成績に応じてファンがそういう何か見るところに影響しているということなのでしょうね。分かりました。ありがとうございました。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 今の件、274ページの備考欄の2の（8）の補助及び交付金、今の稲嶺伸作委員から質疑あった観光協会の件なのですが、現在会員数は何人いますでしょうか。観光協会の会員数で。

（「すみません、休憩お願いします」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 （休憩時刻 午後3時33分）

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 （再開時刻 午後3時35分）

仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 観光協会の会員ですけれども、法人会員が101件、個人会員が7件、賛助会員が12件です。

（「ちょっとはつきり聞こえなかったですね。もう一回お願いいたします」と言う者あり）

○ 仲村正夫 観光振興課長 すみません。では、もう一度答弁します。法人会員が101、個人会員が7、賛助会員が12です。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 随分少ないですね。これ恐らく観光協会を立ち上げたときは、法人、個人会員をして200ぐらいいたと思うのです。これをこれだけとすると、もう観光協会を設立して20年ぐらいになるので

はないですか。この少ない理由は。過去３年間の分かりますか。推移。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 ちょっと休憩お願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午後３時36分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午後３時37分)

真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 これはやっぱり会費も違うと思うのです。口数でやっていると思いますが、法人会員と個人会員のあれ違うと思うのです。これ分かりますか。年額幾らなのか。いや、なぜこれを聞くかといいますと、人件費にこれ相当皆さん、以前は300万円ぐらいだったと思いますが、今回は400万円超しているのです。しかも、会員数は設立当初の半分以下。これ一体どういう事業をなさっているのですか。ちなみに、役員数教えてもらえますか。理事がいて、会長がいて、監事がいて、理事長がいますでしょう。その正規職員、臨時職員、職員体制を教えてください。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午後３時38分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午後３時39分)

仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 令和元年のときの職員としては、観光協会の職員としては、正規職員は２人です。常務とか理事については、市のほうの職員が就いております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 正規職員２人。臨時職員は何人ですか。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 臨時職員は２人体制です。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 ４人の職員がいらっしゃるわけですね。そうしますと、観光協会のやっぱり毎月決算書が皆さんのほうに来ると思うのです。事業報告みたいな。事業報告書、決算書が。それに基づいて皆さんは補助金の額を査定すると思いますが、この観光協会の予算総額をお聞かせ願えますか。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 すみません、ちょっと休憩お願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午後３時40分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午後３時55分)

仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 観光協会の事業費なのですけれども、平成29年度が4,449万5,077円となっています。平成30年度が1,782万9,455円、令和元年度が3,720万1,208円となっております。観光協会の事業費としましては、受託事業、要するに観光協会として委託事業にエントリーして採択されたものによってちょっと事業費の格差が出ているというところがあります。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 今回の説明では、県あるいはいろんな団体からの受託事業があるわけですね。受託事業があって、その受託事業の数によって金額が違うということでございますね。そういうことですか。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 そういうことでございます。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 それと、正会員と賛助会員の数、さっき話していたとおり……もう一度お願いしましょうか。すみませんが。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 3 時57分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 4 時00分)

仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 先ほどの質疑の規約の中に確かに名誉会員というのもございますが、名誉会員というのが今いないという状況だと思います。2020年の3月25日現在のもう一度、正会員と賛助会員の数をお知らせします。正会員が105、賛助会員が12です。あと、時点が入ったりするのがちょっとありましたので、すみません。今、2020年の3月25日現在で105、賛助会員が12です。

○ 仲里邦彦 委員長 真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 それと、大まかですけれども、皆さんが、観光協会が実際にやっている、受託事業ではなくて皆さんがやっている単独事業の主な事業、いろいろあると思いますが、これちょっと、主な事業だけ教えてもらえますか。大きく事業費と管理費に分けることができますよね。観光協会の場合は、その事業費です。どのぐらいの事業費でどういう事業をやっているのか。そうせぬとおかしいですよ。人件費だけで事業何もやっていないということになりますよ。単独での。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 今観光協会さんのほうで受託してもらっている観光振興事業委託料というのがあるのですけれども、この委託のほうは観光協会さんのほうでもって受託していただいています。

(「委員長、ちょっと止めてもらえますか。これ進行していますよ。これ……」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 4 時02分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 4 時04分)

真栄城玄誠委員。

○ 真栄城玄誠 委員 1,000万人近く観光にきますでしょう。そして、にぎわい広場もできますでしょう、前田のほうに。駅もあるけれども、浦添市は素通りになっていることを言われているわけです。だから、そういうためには観光協会もっと活発にならないと。ですから、皆さんはきちっと観光協会と連携を取りながらこれやるべきだと思います。400万円余りも浦添市から補助金を出しておるのですから、その補助金にマッチするような事業を実施する必要があります。これ指摘して終わります。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、それでは市民部所管に対する総括的質疑を許します。西

銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 市民課窓口の一部民間委託、途中だったので、すみません、やりますけれども、現行 7 人、正規職員、直営 9 人、2 人多い理由は、職員増の理由、新たな業務として住民異動に伴うマイナンバーカード継続事務がありますよと。これ何件、ちなみに今現在ありますか。マイナンバーカードの継続事務。

○ 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 マイナンバーカードの件につきましては、転入、転出の際に住所の異動等がございますので、カードに追記をするということでの新たな要路が発生しているというところでございます。マイナンバーカードをお持ちの方を処理していくということになりますので、今浦添ではまだ交付率というのは、最新の段階ですと14%台になりましたけれども、全体からすると、交付枚数が1万6,000枚余りですので、この1万6,000人の方々が転入、転出をすればその対象となります。その人数というのは、その時々によって変わりますので、正確な件数はちょっと持ち合わせておりませんが、この1万6,000人余りの方がそういう転出、転入の際に異動が出れば、それが追記事業が出てくるというところですよ。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 旅券事務、旅券の発行、これ県の事務を進達というのですか、市が窓口になって県に進達して、また返してもらうというやり方だと思うのですけれども、これも件数今分かりますか。

○ 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 今の平成30年度の実績件数で申し上げますと、7,345件となりまして、対前年で1,302件増加しているところです。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 ちなみに、住民異動に伴うマイナンバーカードの継続事務と旅券事務、平成何年からやっていますか。

○ 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 マイナンバーカードの交付事業につきましては平成28年の2月です。旅券事務につきましては、平成29年の4月になっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 平成28年度からマイナンバーカードが交付をされて、住民票の異動に伴って、転出、転入に伴ってマイナンバーカードの継続の事務が出てきたと。平成29年の4月1日から旅券の事務が始まりましたという中で、皆さんの直営でやった場合の正規職員は、平成28年は7人だったものが、平成29年には9人と、2人増やさなければいけないという見立てを出しているのですよね。その一方で、現行も同じように平成28年にマイナンバーが始まりました。平成29年からは旅券の事務が加わりましたという同じ時期に実際の現行の職員は平成28年と平成29年で何人から何人になったか改めてお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 委託前の窓口の人数ですと、職員数で12人となっております、平成28年には9人と、3人減となっております。本来ですと、査定のほうでは5人減ということでありましたが、いきなり5人減になりますと窓口が混雑するとか、職員の負担もかなり増となりますので、年次的に1人ずつ減としております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 端的に言って、平成28年9人だったものが、平成29年8人と、1人減になっているのですよね。ここですよね。見立てでは2人増えるとやっただけでも、実際現行では1人減っていると。いわゆる実際に1人減っているのであれば、それに合わせて当然試算、見立てでもそれと同様に減るような見立てでやらないと、私はこれ整合性取れないのではないかなと思っているのです。もっと言えば、今時点で職員の増員要望というのを皆さんやっていますか。所掌事務として旅券の発行事務をしないといけない。もう一つ、マイナンバーカードの継続事務もやらないといけない。そのために職員が必要だという増員要望をやっていますか。お聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 平成28年、平成29年に関しましては、マイナンバーカードの交付状況も今と比べましたらかなり枚数のほうが下回っていますので、ただ今現在いろんな、国のほうもマイナンバーカードを利用した促進事業が始まっておりますので、今現在も多くの市民の方々がまた申請、交付にいらしているところです。そうしますと、今現在ではなかなか対応するのが難しいというところもありましたので、行革のほうには増員要求をいたしているところがございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 何人増員要望を出していますか。

○ 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 現在、会計年度任用職員を3人と、マイナンバーカード交付担当の主査ということで1人要求してございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今現在、正規職員を1人増員してほしいという要望を出しているけれども、今つかない現状があるというのが実態だという今説明がありました。つまり、あくまでもこれは費用対効果を試算するに当たっての皆さんの評価を出している試算だと思いますので、あくまでも実態に合った職員数で費用対効果を比較しないと、これはおかしい結果が出てくるというふうに思います。何を言っているかという、直営でもしやったら、マイナンバー担当も必要ですって皆さん1人、カウント1人やっているけれども、実際には現行でマイナンバーカード担当を求めているけれども、つかないという現状があるのであれば、現行に合わせてその試算のほうも人数を合わせないといけないというふうに私は思いますけれども、結果的にこの職員を1人、皆さんが試算の中で1人マイナンバーカード担当ということでカウントしていることによって、結局赤字と黒字の逆転現象が起こっていると思うのです。先ほど言った5年間で2,665万7,450円という5年間の、これだけ財政効果が出ますよという数字が1年ごとに割れば535万円、これが職員1人いるかないかによって逆に赤字になるという現象は出てくると思うのです。その辺りもっとしっかり精査して費用対効果というのは出す必要があると私は思っていますけれども、これ何度かやっていますけれども、いかがでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 大里千都美市民課長。

○ 大里千都美 市民課長 今回試算しているものは、あくまでも窓口業務に係るものです。住民基本台帳業務に係る部分でございますので、転入、転出に関してのマイナンバーカードの追記事務というのはあくま

でも住民基本台帳に基づくものでございます。ですので、先ほど私が申し上げました増員要求分については、あくまでもマイナンバーカードの交付事業というところになりますので、それは委託ではできない業務なのです。特別な端末を操作しなければならないので、これは職員になりますので、それで職員と会計年度任用職員の増員を要望しているというところなのです。ですので、あくまでも今回の試算というのは窓口業務に係る分を現状の業務量に合わせて試算した分というところでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ありませんか。下地恵典委員。

○ 下地恵典 委員 1点だけ質疑します。浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例、いわゆるLGBTですが、去る3月議会において市長は、浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例について、今後より一層の普及啓発が必要だと考えて条例上程を見送ることにしたが、今後この上程をどのように今のところ考えておりますか。

○ 仲里邦彦 委員長 森田牧子市民協働・男女共同参画課長。

○ 森田牧子 市民協働・男女共同参画課長 お答えします。いわゆる性の多様性を尊重する条例についてでございますが、今回は条例を上程するには時期尚早であると総合的に判断し、見送ることといたしました。今後の条例の上程時期につきましては、現段階では未定となっております。担当課といたしましては、今後もレインボー都市うらそえ宣言の趣旨を踏まえ、また第3次浦添市男女共同参画行動計画～てだこ女男（ひと）プラン～の中の4つの基本方針の一つである多様な性や人権を尊重する社会づくりの推進に努め、条例制定を見据えながら取り組んでまいります。具体的には、本庁庁舎前や本庁庁舎内へのレインボーフラッグの掲揚、ハーモニーセンター前における看板、のぼりの設置、パネル展の開催、一般向け講演会、市内中学校における講座、LGBT電話相談、パンフレットの作成など、十分な普及啓発を行った上で改めて丁寧に進めてまいりたいと思います。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 下地恵典委員。

○ 下地恵典 委員 私どものてだこ会派も渋谷区まで行っているいろいろ勉強しながら、聞き取りながら、向こうの条例制定、今のところ向こうはありますけれども、いろいろ話を伺っているのですが、やはりこの問題については、3月に見送った時期もしっかり、私どももそのときはそれでいいと、今でもまだまだ勉強中ではあるのですが、今、本県ではやっぱり、宜野湾市さんですか、宜野湾市さんが否決されて、今また新聞報道とかによると、やっぱりいろんな今報告ありました人権問題とか、いろんな住民からの要望とか、いろんなのがたくさん、支援してやらなければいけないことがあるのです。ただ、それをこれから先、これを条例化していくためには、やはり何といたってももっともとお互いに理解し合って、こういう人たちが来た場合にはこのまちはどうなるの、これをまた制定した場合にはここにまたこういう人が増えるのか、あるいはまたどうなるのかと、いろんな形が出てくると思うのです。だから、そういう面においてこれから先いろいろとやっていかないとはいけないと思いますが、もちろん皆さん、市民協働・男女共同参画課もこういうふうやって、これからどういこうのを望んでいきたいのか、まず一言お願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 森田牧子市民協働・男女共同参画課長。

○ 森田牧子 市民協働・男女共同参画課長 当課といたしましては、反対の方の声、また賛成の方の声、両方の声を多く聞いております。これまでもそうでしたが、これからにおいても両方の意見を公平に聞きながら、私どもでできる事業から進めてまいりたいと考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 下地恵典委員。

○ 下地恵典 委員 ぜひこの人権、いろんな迷惑かけないように、ただ制定すればいいというものではなく、その制定した理由の中においては、やっぱり浦添市でというふうなことはできますから。だけれども、浦添市が制定してよかったとか、あるいはまた悪かったとか、いろんな問題は起こると思うのですが、まだまだ、私の考えですが、やっぱりもっともっと準備して、もっともっと慎重にやって、時間を置いてやったほうがいいかなと思い、またそのように要望して終わります。以上であります。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。又吉正信委員。

○ 又吉正信 委員 では、1点だけ。先ほどから観光の関連でいろんな御意見がありました。観光振興課と観光協会との連携の在り方、今後の展開をどういう形で考えているのか。浦添前田駅周辺の一つの観光拠点という一つの方向づけもあると思いますけれども、その辺の方向づけがいつからどういう形で展開していくのかお聞きしたいと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 浦添市と観光協会としては、当然今観光協会がDMOの候補法人となっていますので、連携して進めていかないといけないというところもやっぱりあります。その中で、今コロナの状況の中だと、ちょっと観光というのは一番つらいところでもあるのですが、今回市の事業としての食事券というのでも配布事業も観光のほうで受け持っています。それなにかというと、観光のキーワードの中では食というのがとても大事になりますので、それを支えていかないといけないということで、観光協会と一緒に連携しています。その中で市内の飲食店とか、ああいうのを観光協会ですべて把握してもらって、反転期には飲食するような周遊ルートをつくるとか、もうその作業には一緒になって入っています。それらを踏まえて、協会と一緒にタッグを組んで、協会だけではなくて、先ほど真栄城玄誠委員が言っていたみたいに協会の会員の獲得もやっぱり大事な点になりますので、協会としてうまく回すために必要となっていますので、いろんな部署と連携しながら、観光協会と一緒に浦添市の観光というのをどんどん出していきたいと思っています。市のほうでも、浦添市との関係人口が拡大できるような仕組みとして、歴史紙芝居とか、歴史に関するアニメ等もつくっています。また、誘客につながるようなWi-Fi環境の整備とか、実は観光Ma a Sとの連携、また今度11月にオープンするコミュニティバスとの連携もしながら、まずは市民、県民に浦添を楽しんでもらって、インバウンドができた暁には観光協会と一緒に誘客に向けて取り組んでいきたいと思っております。以上でございます。

(「前田の件は」と言う者あり)

○ 仲村正夫 観光振興課長 前田のにぎわい交流施設については、今現在、施設について、去年委託事業のほうでサウンディングとかいろいろやっていて、観光につながるようなところの施設運営もできる方向で今考えておりますので、前田のにぎわい交流施設は、前面のほうでにぎわい交流施設、背面のほうで交通広場というのがまたありますので、それも連携しながら、浦添前田駅のほうにも、観光のほうでも自転車で浦添前田駅から来れるような仕組みづくりも今取り組んでおりますので、その辺が連携していくと浦添前田駅もまた拠点にしながら観光というのが見えてくるのかなというところでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 又吉正信委員。

○ 又吉正信 委員 今いろいろ説明を受けましたけれども、まず観光協会というのは地域においてどうい

う役割を果たしているのかというのはひとつ皆さんしっかり考えたほうがよろしい。今回の食事券の件もそうですけれども、全く割引がないような形で、これで観光協会に委託をするなりして、それを裾野を広げようという一つの考え方において、ある意味では食事券の対応の在り方は非常にまずかったのではないかと思います。もっと会員を増やすためにも、やっぱりそういったメリットを与えることによって会員にどんどん引き込んでいくと。そうすることによって地域の観光協会に対しての認識と、また地域住民に対してもそういったアピール効果が非常に大きくなると思うのです。それをしっかりやってもらわぬことには、まずタイミングの問題です。よそは50%でやっている。ある意味では30%とか20%とかいろいろありますけれども、浦添にとっては今回も全くなしの状態でみんな協力してくれという中では、今までありましたけれども、今後さらにまた展開するにおいてこの辺のプレミアムの件もしっかり考えてもらいたいと。観光協会と観光振興課、先ほどはいろいろ質疑がありましたけれども、なかなか連携が取れていないような感じがします。もっと掘り下げて、しっかりと観光の在り方、また観光協会の考え方もしっかり把握する中においてやらないとお互いの連携というのはできませんよ。それについてどう思いますか。これまでの流れとして。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 今現在、観光協会とは要するに自主事業というのですか、企画ができるようなメニューづくりも実は一緒になって取り組んでいます。実は、ちょっと採択までは至らなかったのですが、誘客多角化事業というふうなものに対しても一般社団法人りっか浦添さんとかも連携して、協会も連携して実は国の事業にエントリーまではしたのですけれども、やっぱり採択にはちょっと至らなかったのですけれども、このきっかけづくりがまた機運が高まりましたので、それを受けて、そのエントリーした事業に対してはまた連携しながら、できるところは取り組んでいこうという形も取っていますので、協会と両輪のつもりでやっていくつもりでありますので、そういうことでよろしくお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 又吉正信委員。

○ 又吉正信 委員 ちょっと歯切れが悪いような感じしますがけれども、もっとしっかりした形で観光の在り方、今コロナの影響で観光というのはやっぱり厳しい環境にあるというのは分かっています。承知していますので、そこを今後さらに発展してサポートするためにも、しっかりとまた、皆さんは補助金を人件費として充てていますので、それを大いにまた連携しながら、お互い対話をもってしっかり進めていってもらいたいと思います。国が商品券の、食事券もそうですけれども、今後また予定があれば、そういうところにもしっかりとつける形で、また地域の活性化につながるようにやってもらいたいと思います。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ありませんか。伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 今のところですがけれども、食事券の件について今質疑ありましたけれども、これ令和元年度の決算なので、やっていいのであれば僕もやりたいのですけれども、いいですか。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後4時29分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後4時30分)

伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 「ありがとう&がんばろう」キャンペーンの件ですがけれども、中学3年生に配って、居酒屋とか、市長はしょっちゅう散髪でも使えるだとか整骨院でも使えるとかということをおっしゃっていましたけれども、ほとんどあれ居酒屋だと思うのです。そのときに、ある議員が質疑して居酒屋の割合を聞

いたのです。そのときに答弁なかったので、今委員会の中で、では伺いたいと思います。僕もあれ購入して一応裏見たら、ほとんど居酒屋が、半分以上は居酒屋だったと思うのですけれども、何割が居酒屋なのか、そこを伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 今手元のほうにちょっと数字的なものは持ってきてはいないのですけれども、委員おっしゃったとおりに半数程度のところが居酒屋、飲食のところに使われていたという結果は出ています。

(「ちょっと休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後4時31分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後4時32分)

伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 そういう居酒屋がほとんどの、ほとんどというか、半分以上居酒屋で使うための商品券、飲食業を、先ほど答弁ありましたけれども、応援するためのもの。基本的にはそこからスタートしたものの。それを中学3年生に配った理由というのを伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 今回のまず食事券の意味合いとしましては、登録店舗が半分ぐらい居酒屋もあったかもしれませんが、その他の店舗もやっぱり半数ほどあると。テークアウトなされている店舗もございました。その辺も踏まえて、この趣旨は飲食店を応援するという意味合いと、あと期間がコロナの影響でなかなか行けないというところで、ちょっと事業期間を延長したというところもありまして、食事券の有効活用が図れないかというちょっとオペレーション的なところもちょっとありまして、それを把握しながら応援できる場所はないかというところで、受験生もなかなか困っているところ、元気になれることがないというのを学校校長会ともちょっと集まっていろいろ話をしたら、こういうのを考えているのですけれども、どうですかと言ったら、ぜひ協力してやっていって応援してほしいというメッセージがあったので、少しお配りしたところもあります。実際に中学校の、ある学校の先生が、お配りするときに裏のほうに受験頑張っ、これ食べて頑張れという、先生が応援メッセージをつけたというのもありましたし、交付やりながら、ある親御さんからは、ひきこもりでなかなか、受験なのだけれども、出れないという子がこの食事券でもって外に出るきっかけづくりになったというお話もあるのです。実際登録店舗がやっぱり半数以上居酒屋があったということはありますけれども、当然親御さんと一緒になって使ってもらうとなると、通常の飲食店のほうで使ってもらえるということを考えながら配布したところがあります。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 市長は2度、答弁の中で散髪に使えるのだというお話をされていたのです。その散髪屋さんで使えるところどのくらいあるかといったら、多分市内でたくさん散髪屋さんってあると思う、美容室たくさんあると思うのですけれども、たしかそれに載っていたの10もなかったと思うのです。理容室、美容室使えるところ。10どころではない。5か所ぐらいだったかなというふうに思います。それに対して居酒屋が大多数という。そういうものを中学3年生に配った。中学3年生の子供たちの手元に行きました。そこから私のほうにある話が届いております。中学3年生がこの券を手元に、1万円の券を持っていて、どうし

ようもないわけです。使いようがないというか、別に居酒屋に行くわけでもないです。だからといって保護者と一緒に、食べに行ければそれはいいでしょうけれども、そうではなくて個人でこの1万円の券を手元に持ってしまうている。この子たち、あるところに現金5,000円と交代している事例があります。こういう話は容易にそういう想像できますよね。容易にあり得ますよね。やっぱり懸念していたこと普通に僕もそういう話を聞きました。この人は5,000円と交代した。その中学生の御友人さんもその人のところに同じように5,000円で交代してもらったと、そういう、友達もやっているよと、こんな話なのです。その友達が5,000円なのか、7,000円で交代したのか、3,000円で交代したのか分かりませんが、こういうことって容易に想像できませんか。なぜそういうことをやったのか、そういう声、どうでしょう、それを受けて。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 一応その辺も、直接生徒にお渡しするのはやっぱりまずいよねというのは分かりまして、当然そのオペレーションとして、まずは学校側から引換券を生徒さんにお渡しして、この引換券を親御さんが、この子供の親ですよというのを確認しながら親御さんのほうに一応お渡しはしているのです。直接子供さんに渡していることでは実はないのですけれども、ただいろんな、家庭によっては頑張れよと言ってそのままお渡しした家庭ももしかしたらあったのかもしれないというのは想像は確かにできることではあるのですけれども、それがないようにということで、お渡しのときにも家族で食べてねという形でお渡しの方もやりながらやってはいたのですけれども、結果としてそういうことがあるとなると、今後のちょっと検討課題にはなるのかなということは認識します。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 分かります。保護者に渡したのももちろん分かります。ただ、中学3年生としては、受験生である私たちにくれたものを、浦添市が私たち、僕らにくれたものを僕の親が持っている。親に対しては、何で僕がもらったもの、僕がもらっていいものなのでしょう、僕にちょうだいという形にはなり得ますよね。そういう中で、もちろん保護者が管理した上で、保護者が一緒に共同で使った、あるいはこれで散髪行ってきなさいとかという話もあったかも知れません。それがほとんどでしょう、恐らく。しかし、そういうふうな注意喚起をしながら配ったわけでしたら、そういうことがほとんどだとは思いますが、保護者によっては、あるいは子供たちにとっては、自分がもらったものだから、自分にちょうだいよと自分がもらった。使い道がない。居酒屋とかあんなものだと。そして、周りで友達が5,000円で買い取ってくれる人がいるということを知って、そこに渡してしまっている。こういうことが起こり得るし、実際に起きているし、こういうことがあってはならないのではないかと僕は非常に思います。観光、要するにコロナで経済を活性化させる、その起爆剤とするのであれば、そういう中学3年生に配ってとか、そういうやり方ではやっぱりまずい。ここはやっぱりしっかり反省していただいて、今後に向けてやってほしいというふうに思いますが、局長ひとつ一言お願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 比嘉克也経済観光局長。

○ 比嘉克也 経済観光局長 先ほど観光振興課長のほうからも御説明があったとおりです。私ども、こういったことも想定をして、校長会とかそういったところにお渡しするときの注意事項としては、父兄を通して、保護者を通して家族で食事、栄養をつけてくださいねという意味合いで渡しているところでございます。実際に伊礼委員が御指摘になったものにつきましては、私たち実際把握はしてはございませんが、今後こう

いった事業を展開するときには、こういったリスクもちゃんと加味しながら事業計画を立てていきたいと思っています。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員、いいですか。

○ 伊礼研一 委員 はい、以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 総括質疑をさせていただきます。やっぱり観光協会が一つ大きなポイントになるなど観光産業の政策でまた再認識させていただきました。今年度から新しい事務局長が着任されて、今何か月ですか、半年以上はもう経過していると思うのですけれども、今その新しい事務局長、ちゃんとモチベーションも保ちながら、しっかり生き生きと希望を持って業務に従事されているのかどうか、担当当局の今感想を伺いたいと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 観光協会と当然市のほうも連携して、他の企業さんも実は商工会議所さんも今一緒になって連携しながら、やる事業、また自主事業も掘り起こすような形になって、一緒になって取り組んでいるところであります。一つの例なのですけれども、今考えている例として、やっぱり観光のほうで食事券を配布したというのがあって、市内の飲食店の、海外の飲食店なんかもどこにあるかとか、メニューがどういうのがあるのかというのまで今把握していますので、観光協会さんのほうで、一つのアイデアとして、浦添にいながら海外に行けるような、外食店を巡るようなスタンプラリーをしながら、またお店の方が海外の方もいらっしゃるの、そういうソフト面でもって、浦添では海外に行けるよというちょっとスタンプラリーみたいのを考えたいということで、自主事業として芽出しをしたいということで今取り組んでいるところもありますし、また浦添に泊まろうキャンペーンみたいのを今後国がやるGo To キャンペーンと併せながら、うまく連携して、ヤクルトのキャンプの時期に浦添に泊まりながらこういう飲食でも回れるような自主事業を展開していきたいということで、一緒になって取り組んでいるところでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 やはりモチベーションもしっかり保たせて、途中でやめることなく継続して浦添の観光協会の中心者として、プロデューサーとして頑張っていただけの知見の高い方を今回はようやく、ようやくと言ったら前の方には失礼ですけれども、しっかりとした方を今据えているということは御本人とも会って確認もさせていただきました。やっぱり福利厚生というか、給与面等の待遇も含めて大変気になる場所だったので、今回補助金として400万円上がっているところのどれぐらいがまたそういう事務局長のほうの人件費等にも当たるのかなとかということをちょっと気になりながら質疑をさせていただいたところなのです。そういう中で、やはり待遇面、福利厚生面、そしてまた実際行う仕事の内容、そういうところが合致して初めてモチベーションと、また浦添の魅力をしっかり感じながら希望を持って継続して取り組めると思うので、またその点でもしっかりと今年度、コロナがあるので、本当にやりたいこととかができているのかなというところもあるのですけれども、受託の部分もしっかり受けながら、そしてスタッフをしっかりとまたプロデュースしながら実際なさっているというところは私も信じて確信を持っているところなので、また支えて、両輪として役所の当局の皆様方と一緒にまた成長させて、そしてまたDMO正式認可取得という

ところをしっかりと勝ち取ってほしいなと、順調にいつてほしいなと思っています。その中でやっぱり浦添商工会議所は、りっか浦添とか、しっかりとした事業が、また横の連携も取れて成功事例として高く評価されているところだと思うので、やはり商工会議所と観光協会が両輪になって、その上にまた皆さんが監督をするというのが本当にあるべき姿ではないかなというのは個人的に思っておりますので、その点についてちょっと御意見をいただきたいなと思うのですが、あまりにもまた関与し過ぎるところも、いずれは自走させないといけないというところ、自立させないといけないというところもあるので、やはりDMOを取得させる、そして今のコロナという、コロナ禍というところの状況も踏まえながら、ビジョンというところをちょっと今伺いたいなと思います。新しい事務局長を確保したところも含めて。あと、もう一つだけ、すみません。スタッフが4人というところもありましたけれども、やはりその人数というところも大変ちょっと気になるところなのです。本当にその4人で回していけるのか。今はコロナだから、まだできているのかなと思うのですが、しっかりとプロデューサーがいながら、スタッフがまた充実していないと疲弊して、リーダーが辞めてしまうということにもつながりかねないので、そういうところも全体的なところをちょっと伺いたいなと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 仲村正夫観光振興課長。

○ 仲村正夫 観光振興課長 基本的にもう一般社団法人という格付でもって観光協会は立ち上がりました。当然市とも連携しながら、商工会議所も連携するのですが、自立に向けて一緒に、自立できるような観光協会になれるようにということで一緒に今取り組んでいます。それで、アンテナを張りながら、ほかに補助メニューがないのか、民間の補助メニューがないのかといった、一緒に考えて考えながら、実はエントリーとか企画立案しています。そうすることによってコロナ禍の中でもできるまたスキーム、観光のスキームまたありますので、もうそういうの駆使しながら、観光協会が独立して運営ができるように一緒に取り組んでいるところでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 あと、商品開発のところは、先ほど2,000万円の予算をつけながら、毎年毎年本当に充実しているということが分かったので、やはりそういうところで、観光で来ていただいた上で、実際に市内で消費をしていただく、購入していただき、体験もしていただくというところではやはり商品開発というのは、特にまた農産物があり、資源が少ない浦添にとっては、やはり桑というところは一番大事な地域資源でもありますので、そこから付加価値の高い商品開発にもつなげていっているということは大変評価できるなと。ですので、観光協会をしっかりと構築、組織を構築していただきながら、育ていただきながら、やはりそういうまた今度は市内業者さんのところに商品開発も含めておもてなしのそういう雰囲気もつくりながら、素通りのまちの解消にぜひ、DMOの来年、再来年ですか、正式認可をまた踏まえながら、成長していただきたいなと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はありませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、以上で市民部に対する審査を終了いたします。市民部の皆さん、御苦労さまでした。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午後4時48分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午後 5 時00分)

これより議会事務局所管に係る一般会計決算審査を行います。

事務局長の総体的説明を求めます。比嘉さつき議会事務局長。

○ 比嘉さつき 議会事務局長 それでは、議会事務局所管に係る令和元年度一般会計歳入歳出決算の概要について御説明いたします。まず、議会事務局所管の歳入でございますが、議会マイクロバス廃車に伴う物品売払収入及び議会費雑入のみで、歳入合計6,068円でございます。次に、歳出でございますが、予算現額3億1,542万8,000円に対し、支出済額3億817万7,360円となっておりまして、予算現額に対する執行率は97.7%でございます。対前年度と比較いたしまして2,806万7,110円、率にしまして10%余の増となっております。その主な要因につきましては、新たに議場用会議システムを構築したことによる委託料の増額でございます。以上で総体的説明をさせていただきまして、詳細については次長より説明させていただきます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 次に、歳入13款の説明を求めます。慶田 朗議会事務局次長。

○ 慶田 朗 議会事務局次長 決算書は、81ページから82ページを御覧ください。13款2項2目1節物品売払収入、備考欄2の(2)廃棄車両売払収入(議会事務局)3,283円が議会事務局所管分でございます。これは、昨年9月、経年劣化により廃車した議会マイクロバスを廃棄車両として売り払ったことにより得られたものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入13款に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に第17款の説明を求めます。慶田 朗議会事務局次長。

○ 慶田 朗 議会事務局次長 決算書は、91ページから92ページにかけてでございます。17款4項3目1節議会費雑入、備考欄1の(1)自動車損害共済解約返戻金(議会事務局)2,785円が議会事務局所管分でございます。先ほどの財産収入の説明と同様、議会マイクロバスを廃車したことにより自動車損害共済保険を解約したことから、2,785円の返戻金があったものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 17款の質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がございませんので、次、歳出に移ります。1款1項の説明を求めます。慶田 朗議会事務局次長。

○ 慶田 朗 議会事務局次長 決算書は、117ページから120ページにかけてでございます。118ページを御覧ください。1款1項議会費、備考欄2議員報酬事業、備考欄3議会事務局事務費、ページをめくりまして、備考欄4議会運営事業が議会事務局所管分でございます。ページ戻りまして、備考欄2議員報酬事業につきましては、支出済額2億5,144万1,293円、前年度と比較しまして189万1,607円の減、率にして0.75%の減でございます。減の主な要因は、市議会議員共済会負担金の減によるものでございます。続きまして、備考欄3議会事務局事務費につきましては、支出済額302万3,960円、前年度と比較しまして12万1,319円の減、率にして3.86%の減でございます。減の主な要因は、臨時職員賃金について、当初4月の任用を予定しておりましたが、任用に至らず、5月半ばから任用となったこと、その間の時間外勤務及び任用後、臨時職員が対応できなかった時間外勤務を職員が対応したことにより発生した不用額によるものでございます。ページめく

りまして、備考欄の4議会運営事業につきましては、支出済額5,371万2,107円、前年度と比較しまして3,008万36円の増、率にして127.28%の増でございます。増の主な要因は、議会棟建設当初から使用しておりました議場用会議システムが経年劣化のため、新たに議場用会議システム構築委託を行ったことによるものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳出1款1項に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 それでは、議会事務局所管に対する総括的質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、以上で議会事務局に対する審査を終了いたします。議会事務局の皆さん、御苦労さまでした。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日は、これにて散会いたします。

(散会時刻 午後5時06分)